

令和3年度 事業報告書 目次

令和3年度事業報告	1
令和3年度事業概要	3 ～ 15
令和3年度諸事業の詳細	16
1. 法人運営	
(1) 会議の開催状況	
ア. 理事会	16
イ. 評議員会	16
ウ. 部会・委員会	16
エ. 監査	17
オ. 正副会長会	17
(2) 社協組織の強化	
ア. 社協会員・会費の年度推移	17
イ. 寄付者名簿	19
(3) 広報活動	20
(4) 名義後援	20
(5) 人材育成の取組	21
(6) 組織図	22
(7) 亀岡市共同募金委員会	23
2. 地域福祉推進事業	
(1) 「第3期かめおか地域福祉活動計画」の策定	24
(2) 暮らしのサポートサービス事業	24
(3) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業	25
(4) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）	26
(5) 生活福祉資金貸付事業	27
(6) 福祉金庫資金貸付事業	29
(7) 亀岡市生活支援体制整備事業	30
(8) 福祉生活課題解消支援事業	44
(9) 社会的孤立防止対策事業	44
(10) 福祉用品貸出事業	52
3. ボランティア活動支援事業	
(1) ボランティアセンター運営事業	53
(2) 災害ボランティアセンターの運営・活動	54

4. 福祉教育	
(1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業	5 6
(2) 夏休み社会福祉体験学習事業	5 6
5. 各種団体への支援	5 6
6. 介護保険事業 介護予防・日常生活支援総合事業	
(1) 訪問介護・総合事業第1号訪問(ホームヘルプサービス)事業	6 3
(2) 通所介護・総合事業第1号通所(デイサービス)事業	6 3
(3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業	6 4
7. 障害者自立支援給付事業	6 4
8. 子育て支援事業	
(1) ひろば事業	6 5
(2) つどい事業	6 7
(3) 妊婦来館推進事業	6 9
(4) 相談事業(おひさま)	7 0
(5) 情報提供事業	7 2
(6) 子育てサークル・サロン支援	7 2
(7) チャイルドシート貸出事業	7 2
(8) ファミリー・サポート・センター事業	7 2
9. 地域包括支援センター事業	7 6
10. 市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪!かめおかの輪!～	8 0
11. 共同募金事業	8 0
12. 歳末たすけあい運動	
(1) 協力団体	8 1
(2) 募金の使途	8 2
(3) 募金収入	8 2
(4) 物品寄付	8 4
(5) 年末年始事業	8 4

令和3年度 事業報告

当協議会では、令和3年度事業として、「第3期かめおか地域福祉活動計画」の策定に取り組みました。新たな基本理念を「互いにつながり合い、誰もがずっと住み続けられるまちづくり」と定めたところです。

令和元年度末に端を発した新型コロナウイルス感染症の拡大は、令和2年度・3年度に渡り、私たちの暮らしに多大な影響を及ぼしてきました。孤立、生活困窮、生きづらさなどの生活課題が複雑化・多様化の様相を濃くする中で、更に追い打ちをかけるように状況は深刻化し、公的な福祉サービスと住民福祉活動の結びつきが必要であることを活動計画策定作業の中でも再認識したところです。

令和3年度の各事業につきましても、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者の皆様と、コロナ禍以前のようなつながりを持つことは困難でしたが、だからこそ「つながり」の大切さをかみしめ、可能な限り地域に出向き、住民の皆様の声に耳を傾けてきました。そして地域の中で困難を抱える人や地域の課題を把握し、今できることを模索し、新たなつながりづくりの機会を提供するなど、地域福祉の支援に取り組んできました。

この間、地域の皆様には多大なご理解とご協力をいただきましたことに改めまして感謝申し上げます。

介護保険事業や子育て支援事業につきましても、新型コロナウイルス感染予防の対策をしっかりと行い、利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう職員一同努めるとともに、利用者個々のニーズに応じた質の高い介護保険サービス等の提供、利用者に寄り添った支援・相談等に努めました。

地域包括支援センターにつきましては、令和3年度の新規事業として、まずは中部地域4町の関係機関の皆様との顔つなぎを念入りに行うことを心掛けてきました。その結果1年間をかけて高齢者の総合相談窓口として地域の皆様方に認知いただけたのではないかと実感しています。

また、組織体制につきましては、働きやすい職場環境づくりを目指し、ひいては人材不足の解消に向け、「きょうと福祉人材育成認証制度」更新手続きに取り組みました。

令和３年度も当協議会の事業実施のため、多くの市民の皆様等から尊い寄付金・寄付の品々、また、社協会費へご協力をいただき心から厚くお礼申し上げます。

以下、令和３年度の各事業につきまして、その概要を報告します

令和3年度 事業概要

※事業項目の横に次のロゴで財源を記載しています。

亀岡社協	社協会費等の自主財源や基金の運用益	赤い羽根	毎年10月～3月にかけて実施する「赤い羽根共同募金」の配分金
歳末募金	毎年12月に実施する「歳末たすけあい募金」配分金	利用料	参加者や利用者の負担金
補助委託	亀岡市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業	介護保険	介護保険事業収入
障害福祉	障害福祉サービス等事業収入		

※地域福祉活動計画の各事業については、事業名の横に次のロゴで目標を記載しています。

人づくり	基本目標1・地域福祉の担い手を育む「人づくり」	絆づくり	基本目標2・共に支え合う地域の「絆づくり」
地域づくり	基本目標3・住民主体の地域福祉を推進する「地域づくり」	基盤づくり	基本目標4・社協活動への理解と参画を広げる「基盤づくり」

1. 法人運営

亀岡社協

利用料

基盤づくり

担当：総務管理係

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は令和3年度についても大きく影響を及ぼしましたが、コロナ禍での人と人との繋がり大切さを念頭に置き、各事業に取り組んでまいりました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解とご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額8,302,378円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付を合わせて総額1,394,969円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

平成29年度から取り組んでおります「ふくかめ自動販売機」（寄付付き自動販売機）の設置は、令和3年度におきましても施設管理者、自動販売機事業所のご理解とご協力のもと引き続き積極的に推進に努めましたが、コロナ禍等の影響もあり、新たな設置には至りませんでした。

また、令和2年度より実施しております職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指した、“職員による職員のための職員研修”は新しく入職した職員向けの「新人職員研修」、および職場におけるハラスメントやネット社会における人権問題等に重きを置いた

「人権研修」を実施し、職員間であらためて人権の大切さを確認し合いました。

「きょうと福祉人材育成認証制度」は学生をはじめとした若者がなかなか福祉の業界を選ばない現状を改善するため、福祉業界が安心して働ける業界であることを示すために、京都府が本制度を創設しました。当協議会は平成 30 年度に認証を受けたところですが、3 年間の期間満了を迎える本年度、今後も働きやすい職場環境であることをアピールし人材を確保していくことを目的に、認証更新申請を行い、結果すべての基準にクリアし、更に 5 年間の認証が認められました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・フェイスブック・インスタグラム・社協かめおか等で広報活動を行いました。

2. 地域福祉推進事業

亀岡
社協

赤い
羽根

補助
委託

利用
料

絆づくり

地域づくり

住民の皆さんから日々寄せられる暮らしの困りごとに対して、生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。また、「地域共生社会」の実現のため、地域住民一人ひとりが「支え手」と「受け手」という関係を超えて、支え合い助け合いのできる地域コミュニティをめざしその仕組みづくりの構築、また、いわゆる“ひきこもり”や社会的孤立問題など、地域の福祉的課題に対しても重点を置いて取り組みました。

令和 2 年度に引き続き今年度についても『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』が実施運用され、多くの相談を受け付けました。

(1) 「第 3 期かめおか地域福祉活動計画」の策定

当協議会においては、平成 29 年 3 月に「改定版 かめおか地域福祉活動計画」を策定し、4 つの基本目標に沿って、「支え合い 助け合いのある 顔の見えるまち・かめおか」の実現に取り組んできました。

一方で、高齢者、障がい者、子ども等の各分野では、ダブルケアや老々介護等の課題が複合化・複雑化しているケースに加え、制度の狭間にあるケース、支援が必要であっても周囲に気付かれず地域の中で孤立しているケース等、課題が多様化しています。加えて、全国的な少子高齢化・人口減少社会の到来により、地域の担い手の減少

や人々のつながりの希薄化が進んでいます。

国が示す「地域共生社会」の理念や亀岡市が策定した「第3期亀岡市地域福祉計画」等を念頭に置き、地域福祉課題への長期的・継続的な支援を実現し、誰もが安心して暮らしていける地域づくりを目的とし、亀岡市全体で地域のつながりや関係機関の連携強化に向けた取り組みを進めていく必要があります。それを具現化していくため各関係機関や行政機関と協働し「第3期かめおか地域福祉活動計画」（計画期間：令和4～8年度）を策定しました。

（2）くらしのサポートサービス事業

担当：生活支援係

住民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ家事援助や外出同行などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は72名（前年度比＋5名）となりました。新型コロナウイルス感染症にともなう京都府への緊急事態宣言発出を受け、2度の活動中止期間を設けました。

（3）亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

担当：地域福祉係

体操や脳トレなど介護予防に重点を置き、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供することにより、心身の健康保持に努めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための開催中止もあり、活動回数は33回（前年度比△2回）で延利用人数は241人（前年度比△11人）となりました。

（4）福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

担当：生活支援係

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。近年、利用希望者並びに利用者の抱える課題が重層かつ複雑化しており、1件当たりの時間数の増加、専門員が直接支援を担当するケースの数も増加しています。活動回数については利用者個々の状況により、年間延べ1,113件（前年度比＋24回）と微増となっています。

（5）生活福祉資金貸付事業

担当：生活支援係

低所得者世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し相談窓口となり、府社協から資金貸付けを行いました。

前年度に引き続き『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』への対応が大きなウエイトを占めました。当初は令和2年7月までの時限運用の予定でしたが、感染拡大を受け国の方針により令和4年8月末まで申請期限が延長となっています。

通常分・特例分合計で1,325件（前年度比 △547件）の申請を受け付け、6億1356万9千円（前年度比 △1億7638万4千円）の決定を府社協より受け、貸付希望者の生活再建に繋がるよう支援を行いました。

（6）福祉金庫資金貸付事業

担当：生活支援係

当協議会独自の貸付として、住民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした制度です。令和3年度の福祉金庫貸付実績は合計2件で、総額40,000円（前年度比 ±0）の貸付となりました。

（7）亀岡市生活支援体制整備事業

担当：地域福祉係

亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、市行政と連携をとりながら、地域の生活課題の把握・地域資源の創出・地域関係団体等との連携やネットワークの構築、生活支援体制整備推進協議会（第1層協議体/市全域）の運営と日常生活圏域での協議の場（第2層協議体）設置にむけた取り組み等、2025年までの亀岡市における地域包括ケアシステムの構築をめざして取り組みを進めてきました。

①普段のくらしの目線から、見守りやちょっとした世話焼き活動の中で得た「気づき」を活かす生活支援体制整備事業の担い手である「ともいきさん」は昨年度創出され、本年度の取組の中で44名にひろがりました。

②第1層協議体の住民選出メンバーである「実務者会議」が地域訪問を行う中で、地域理解を深め、地域活動者とのつながりを広げた結果、日常生活圏域における協議の場である、2層協議体（準備会）への移行を行いました。

③新型コロナウイルス感染拡大により影響をうけた、高齢者ふれあいサロンや通いの場等の継続や再開支援を積極的に行いました。

（8）福祉生活課題解消支援事業

担当：地域福祉係

①講演会の開催

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、「老いる前の整理について考

える」と題し、地域でつながりながら健康で安全に暮らせる生活について考える機会として講演会を開催しました。地域で生活される方からの関心が高く、定員を超える応募がありました。講師には、実際にゴミ屋敷などに対応されている団体の方を招き、事例報告や物の関わり方などの話を受けました。

②ふくかめスマイルフードプロジェクト

新型コロナウイルスの影響で生活に困難を抱える世帯に対し、年末年始を安心して過ごしていただくための生活物資を配布しました。あわせて希望者には困りごとの相談や特例貸付の情報提供を行い、生活向上のきっかけとなることを目的とし実施しました。また、物品の寄付や仕分け作業、当日の配布作業など、各関係機関やボランティアと協働し開催することができました。

日時：令和3年12月26日(日)10:00～16:00

場所：ふれあいプラザ前

対象：180人(61世帯)※事前予約制

ボランティア：延べ31名

食品等の物品ご寄付：43件

(9) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

担当：地域福祉係

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを構築し、地域福祉の推進を行うこと、また、社会的孤立が危ぶまれる人を「発見」、発見された人を適切な機関に「つなげる」、またどこにもつながらない人や地域との係わりを拒否している人などを「見守る」の3つの柱を基本に、見守るためのネットワークづくりを中心として事業を実施しました。

ア. 地域福祉コミュニティ推進のための事業

①地区社会福祉協議会の推進及び支援

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等を積極的に行いました。

②自治会訪問による福祉コミュニティの推進

地域の実状や資源・ニーズ把握を行うことで、住民相互の支え合いによる共助の取り組みや地域全体で「見守る」ためのネットワークづくりの構築に努めました。

③地域サロン活動の推進

亀岡市内において、各地域でサロン活動が広がりをみせており、訪問し運営方法や内容について支援を行いました。

④地域福祉活動の推進

各地域単位の地域福祉活動が推進されるよう、相談対応や助成金支援を行いました。

イ．地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くありました。

相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら解決に向けて取り組むとともに、電話による状況確認、訪問など継続的でさりげない見守りを行いました。

相談件数 175 件、対応回数 181 件（前年度比：相談＋74 件、対応△18 件）

ウ．見守りサポーター養成講座

要配慮者の見守り支援を行うサポーター（社協寄り添いサポーター）の養成と活動充実。定例会の開催において、活動についての話し合いや、技術の向上、対応等について意見交換や情報共有を行いました。また、広報にも注力し、関係機関への周知（紹介、説明等）、マッチング、訪問活動を行いました。活動は 3 件、19 回の対応でした。

（前年度比：＋2 件、＋11 回）

エ．青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

①見守りの対象者となりがたい人への支援として、ひきこもり家族教室を開催しました。家族教室では、講師を招き当事者への関わり方を学ぶ会や家族の思いの共有する会などを開催し、家族同士のつながりが構築されました。

（年 4 回実施、参加人数のべ 24 名、前年度比：＋1 回、＋4 名）

②ひきこもりがちな方が安心して出かけられる居場所の一つとして、ひきこもり状態にある方の社会参加支援事業としての居場所『秋桜(コスモス)』も月に一度のペースで開催し、ひきこもり状態である方や、その家族の過ごす場として利用され、相談を受ける中で、就労に向けた行動をされた方がいらっしゃいました。

（年 12 回実施、参加人数のべ 44 人）

③福祉、教育、医療などの支援機関同士のつながりを目的とした連携強化のためのネットワーク会議の開催など連携体制の構築に努めました。

④相談窓口周知のため、広報やチラシの全戸回覧、公式 LINE や公式 Instagram を活用し、広報を行いました。併せて、ひきこもりにかかる相談支援の強化・拡充を行っているところです。（LINE 配信 11 回、Instagram 配信 5 回）

総合相談窓口での、ひきこもりに関する相談対応は 21 件 78 回でした。

（前年度比＋7 件）

オ．要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月 1 回、市と社協の担当で検討会議を開催し、事業の進行状況の確認や個別ケースについて協議しました。

カ．地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、サロン活動を中止や休止されていた団体が多くあったものの、感染状況を確認しながら開催されているサロンに積極的な訪問を行いました。また、ひきこもり状態にある方の就労支援のために、現場の見学や受け入れについての検討を行いました。

第 9 回きょうと地域福祉活動実践交流会がオンラインで開催され、地区社協や自治会役員の方々等に案内することで、地域活動について改めて考えてもらうきっかけとなりました。

(10) 福祉用品貸出事業

担当：総務管理係

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に提供するため、ベッド 27 件（前年度比△2 件）、車イス 101 件（前年度比△4 件）の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への活動支援を目的に、合計で 73 件（前年度比△17 件）のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。今年度についても新型コロナウイルス感染症により事業の実施を控えられたため減少しました。

3. ボランティア活動支援事業

亀岡
社協

補助
委託

人づくり

担当：地域福祉係

(1) ボランティアセンター

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。（個人ボランティア 34 名、ボランティアグループ 34 グループ）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

ボランティア活動に関するチラシを年 2 回発行し、全戸配布を行いました。配布後は、ボランティア活動に興味のある方とつながることができ、個人ボランティアの登録者数が増えました。（前年度比+15 名）

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄付をいただき、エコキャップは開発途上国のポリオワクチン代として寄附するため約350,400個（前年度比+266,400個：キャップ800個でワクチン1人分）を収集することができ、再資源化業者へ送付しました。プルタブに関しては358.9kg集まりました。（800kgで車いす1台と交換）

なお、プルタブ・プリペイドカード・古切手につきましては、実状に合っていない部分もあり、令和3年度で終了となりました。

（2）災害ボランティアセンター

本市災害ボランティアセンターでは、今後の災害発災時にはセンター運営において感染症対策が必須の課題となると捉え、他市町村社協の訓練参加および本市災害ボランティアセンター単体でも訓練を実施、あわせて運営マニュアルの見直しを行い、運営上での工夫や課題を職員間で共有することができました。

4. 福祉教育

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

市内の小中学校（計16校）に対して合計27回ボランティア・福祉体験を実施しました。

児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、可能な限り対面での授業を実施し、児童・生徒に、お互いを思いやる心を育み、共生社会の構築のきっかけとなるように意識して事業を行いました。

夏休み期間中に中学生・高校生が、児童や高齢者、障がいのある人たちとのふれあいなどを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として企画しました。社会福祉施設や中学校、高等学校の協力もあり、24名の参加希望がありました。しかし、新型コロナウイルスにかかるまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令のため、受け入れ中止施設があり、最終的には、6名が社会福祉施設での体験学習を行うことができました。さらに事後学習会は中止となったため、事後学習会の資料や参加証明書を参加された生徒に送付しました。

5. 各種団体への支援

亀岡
社協

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応やについて、また、地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について役員会や総会・施設見学・情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況から総会が書面決議となり、役員会も ZOOM を用いたオンライン会議を行いました。昨年度に引き続き、亀岡市との懇談を行い、課題である社会福祉施設の人材確保について、意見交換を行いました。

② 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 49 の老人クラブが加盟する約 2,100 名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。

⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

6. 介護保険 介護予防・日常生活支援総合事業

介護
保険

補助
委託

介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の 3 事業を行い、「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」、「利用者の尊厳の保持・人権の尊重」を念頭に、高齢者虐待の防止や早期発見に努める研修を実施するなどの体制づく

りを心がけました。新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額 112,570,104 円（前年度比+4,670,300 円）となりました。

（１）訪問介護（ホームヘルプ）事業

担当：ホームヘルプセンター

介護保険法に基づき、介護福祉士や訪問介護員（ホームヘルパー）が、要支援や要介護の認定を受けられた利用者宅を訪問し、食事・入浴・排泄など直接身体に触れる身体介助をはじめ、掃除・洗濯・調理などの家事面における日常生活援助、通院時の外出移動サポートなど、利用者が自宅にいても自立した生活が送れるよう日常生活上の支援を行い 年間利用件数は 745 名（前年度比+68 名）となりました。

また、質の高いサービスを提供するため、意識のすり合わせや情報の共有を行うとともに、グループごとの研修も取入れ人材育成に取り組みました。

（２）通所介護（デイサービス）事業

担当：デイサービスセンター

介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組みながら、調理やクラフト、デイサービスの立地を活かしたバラ園や桜のお花見散策などの行事を実施しました。1 日の利用定員を 25 名から 30 名に変更したことで、新たな利用調整が可能となり、1 日平均 22 名（前年度比+2 名）の方に利用していただきました。

（３）居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

担当：老人介護支援センター

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行ないました。要介護者の担当件数は年間 1,207 件（前年度比△32 件）でした。

新人ケアマネジャーへのケアマネジメント業務の指導をはじめ、『人材育成』にも取り組みました。

7. 障害者自立支援給付事業

補助
委託

障害
福祉

担当：ホームヘルプセンター

《ホームヘルプ事業》

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、介護福祉士や訪問介護員（ホームヘルパー）が入浴・

排泄・食事などの身体介助や掃除・洗濯・買い物など日常生活上の支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサービスの提供に努めましたが、対応にあたる職員やヘルパー不足もあり連携事業所の依頼にこたえることが出来ず、年間利用者数は 255 名（前年度比△19 名）となりました。

8. 子育て支援事業

補助
委託

人づくり

絆づくり

地域づくり

基盤づくり

担当：子育て支援センター

ア. 子育て支援事業

《ひろば事業、つどい事業、相談事業（おひさま）、妊婦来館推進事業、情報提供事業
子育てサークル・サロン支援、チャイルドシート貸出事業》

◆かめおかっこひろば

コロナ禍の中、2 度にわたる休館期間を余儀なくされましたが、子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業（かめおかっこひろば：1 日平均 31 名利用、かめまるランド：1 日平均 164 名利用）、つどい事業（年間 77 回開催）、相談事業（「おひさま」：年間 408 件の相談に対応）の各種事業や情報提供を行いました。全体的なひろばの傾向として、コロナ禍の中でいろいろな制限があるにもかかわらず、ひろばを利用して子どもを遊ばせたい、スタッフや来館者と交流したいという思いから足を運ぶ親子の姿が多くみられました。相談事業については、利用者支援事業として専門員によるきめ細かな対応ができました。また、地域における子育て支援の役割を担う『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員をはじめ地域の方々のご協力を得て 3 箇所で開催しました。地域に根付いた事業として定着しています。参加者は 62 名でした。

今年度も妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し行いました。続くコロナ禍で外出を控える人が多く、今年度の登録者は 24 名となっています。

その他、情報誌「かめおかっこひろば おたより」、LINE、Instagram、Facebook などを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム（かめおかっこひろば）開館日数は 237 日で、来館者数は延べ 7,308 名となりました。

◆かめまるランド

来館者数は延べ 38,739 人でした。月に一度、亀岡市在住の絵本作家、北川チハルさんに来館いただき「えほんのひろば」を開催しました。

イ. ファミリー・サポート・センター事業

担当：ファミリー・サポート・センター

学童保育利用中のお迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間 1,073 件の支援活動を行いました。

また、コロナ禍の中でも、利用者のニーズにできる限り応えながらファミリー・サポート・センターの活動ができるように、感染予防を徹底し、会員講習会を 3 回、会員交流会を 2 回、子育て支援センターと共催の全体交流会を 1 回開催しました。

9. 地域包括支援センター事業

補助
委託

介護
保険

地域づくり

基盤づくり

担当：地域包括支援センター

地域包括支援センターは、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助」、「地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進の包括的な支援」並びに地域包括ケアシステムの構築を目的として設置されています。

令和 3 年 4 月より、亀岡市社会福祉協議会で吉川町・蔦田野町・大井町・千代川町の 4 町を担当する中部地域包括支援センターを亀岡市より受託し、関係機関の連携体制の構築や地域の皆様に中部地域包括支援センター設置の周知をさせていただくことともに、身近な相談窓口となることを目指してきました。

総合相談の年間実績といたしましては、年間延べ件数 2,353 件、介護予防ケアマネジメント担当件数は年間延べ件数 1,748 件でした。

また、コロナ禍の状況ではありましたが、自治会訪問や中部地区民生委員児童委員協議会定例会、並びに 4 町それぞれの定例会やサロンの参加、ミニ講座の開催など顔の見える関係作りを進めることが出来ました。

10. 市民福祉のつどい

亀岡
社協

補助
委託

絆づくり

担当：地域福祉係

例年、福祉への理解を高め共に支え合う福祉コミュニティの形成を目的に「市民福祉のつどい」を開催してまいりましたが、今年度についても、新型コロナウイルス感

染拡大に伴い、やむを得ず中止といたしました。

1 1. 共同募金事業

赤い
羽根

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係（募金事務・募金依頼・募金付き自販機）
担当：地域福祉係（助成・イベント募金・募金百貨店）

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の皆様にご協力いただいています。

その他に赤い羽根共同募金機能付き自動販売機による募金や募金百貨店プロジェクトによる寄付つき商品を通じての募金等含め、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を亀岡市共同募金委員会の審査委員会で審査、運営委員会で承認後、59 事業、合計 3,765,282 円の配分金を助成しました。今年度は特に、コロナ過でも各地域の地域福祉活動が推進されるよう、2次募集の実施や交付基準の見直しを行うなど、有効活用につながるよう工夫をこらしました。

1 2. 歳末たすけあい運動

歳末
募金

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、令和3年12月1日から1ヶ月間、亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。

令和3年度の街頭募金は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせ、運動が始まる12月1日に亀岡駅にて街頭啓発活動を実施しました。

歳末募金の使途につきましては亀岡市共同募金委員会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計808件、4,040,000円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設19箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者やひとり親家庭の方などを対象とする地域での援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計2,299,000円を助成しました。

令和3年度 諸 事 業 の 詳 細

1. 法人運営

(1) 会議の開催状況

ア. 理事会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 5月25日(火)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	13名 (監事 3名を 含む)	1. 令和2年度補正予算について 2. 令和2年度事業報告について 3. 令和2年度社会福祉事業決算について 4. 令和2年度公益事業決算について 5. 評議員の選任候補者に関する件について 6. 評議員選任・解任委員の選任及び解任について 7. 評議員選任・解任委員会の開催について 8. 評議員会の開催について
第2回 令和3年 6月11日(金)	ガレリア かめおか	11名 (監事 1名を 含む)	1. 会長・副会長の選任について 2. 評議員選任・解任委員の選任について 3. 顧問の選任について
第3回 令和4年 3月25日(金)	ふれあい プ ラ ザ	12名 (監事 2名を 含む)	1. 令和3年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 令和4年度公益事業資金収支予算について 5. 評議員会の開催について

イ. 評議員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 6月11日(金)	ガレリア かめおか	19名 (監事 2名を 含む)	1. 令和2年度社会福祉事業補正予算について 2. 令和2年度事業報告について 3. 令和2年度社会福祉事業決算について 4. 令和2年度公益事業決算について 5. 理事の選任について 6. 監事の選任について
第2回 令和4年 3月25日(金)	ガレリア かめおか	18名 (監事 3名を 含む)	1. 令和3年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 令和4年度公益事業資金収支予算について

ウ. 部会・委員会

◎企画調整部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 6月29日(火)	ふれあい プ ラ ザ	9名	1. 令和3年度社会福祉協議会会員(会費)募集について

◎ボランティア福祉部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 10月1日(金)	ふれあい プ ラ ザ	9名	1. 委員紹介、部会長の選出について 2. 令和2年度亀岡市ボランティア基金助成金の報告について 3. 令和3年度亀岡市ボランティア基金助成金の交付決定について

◎評議員選任・解任委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 6月1日(火)	ふれあい プ ラ ザ	6名	1. 令和3年度評議員の選任について

エ. 監査

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 5月12日(水)	ふれあい プ ラ ザ	4名 〔会長含む〕	1. 令和2年度社会福祉事業及び公益事業決算の監査

オ. 正副会長会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 5月14日(金)	ふれあい プ ラ ザ	3名	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和2年度社会福祉事業及び公益事業決算について
第2回 令和4年 3月4日(金)	ふれあい プ ラ ザ	3名	1. 令和3年度 補正予算について 2. 令和4年度 事業計画について 3. 令和4年度 社会福祉事業当初予算について 4. 令和4年度 公益事業当初予算について

※ 令和3年5月開催の理事会については、「新型コロナウイルス感染症」拡大予防のため、書面決議にて承認を得ています。

2) 社協組織の強化

ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
令和元年度	14,222	8,891,025
令和2年度	14,274	8,869,410
令和3年度	13,984	8,302,378

【会費区分別内訳】

	町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額	令和2年度	
		D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額
一般 会費・ 賛助会費		人	人	人	人	人	人	人	人	人	円	人	円
	亀岡東部地区	0	0	0	0	0	0	1,447	0	1,447	723,500	1,464	743,100
	亀岡中部地区	0	0	0	0	0	1	960	4	965	482,200	972	484,900
	亀岡西部地区	0	0	0	0	0	0	690	2	692	345,550	749	368,220
	東別院町	0	0	0	0	0	146	263	0	409	277,500	409	298,100
	西別院町	0	0	0	0	0	0	260	0	260	130,000	224	112,000
	曾我部町	0	0	0	0	0	15	812	1	828	421,300	785	408,500
	吉川町	0	0	0	0	0	10	149	0	159	84,500	160	83,500
	禰田野町	0	0	0	0	0	1	637	0	638	319,500	664	354,000
	本梅町	0	0	0	0	0	9	384	0	393	201,000	376	191,500
	畑野町	0	0	0	0	0	14	138	0	152	83,000	150	89,500
	宮前町	0	0	0	0	0	235	182	1	418	326,320	424	323,790
	東本梅町	0	0	0	0	0	0	177	0	177	88,500	181	90,500
	大井町	0	0	0	0	0	12	1,236	118	1,366	665,400	1,440	701,100
	千代川町	0	0	0	0	0	12	1,068	130	1,210	574,000	1,173	595,000
	馬路町	0	0	0	0	0	340	60	0	400	370,000	391	354,000
	旭町	0	0	0	0	0	95	107	0	202	148,500	303	151,500
	千歳町	0	0	0	0	0	243	84	0	327	285,000	326	285,000
	河原林町	0	0	0	0	0	33	203	0	236	134,500	238	127,000
	保津町	0	0	1	0	0	311	146	0	458	389,000	471	414,000
	篠町	0	0	1	0	0	91	1,606	173	1,871	923,950	1,951	966,600
	東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	21	261	1	283	151,800	282	156,500
	西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	145	450	0	595	370,000	581	369,000
	南つつじヶ丘	0	0	0	0	1	16	212	98	327	150,350	389	194,100
	小 計	0	0	2	0	1	1,750	11,532	528	13,813	7,645,370	14,103	7,861,410
	その他	0	24	16	9	21	43	35	9	157	475,508	143	459,000
	合 計	0	24	18	9	22	1,793	11,567	537	13,970	8,120,878	14,246	8,320,410
施設 会費	社会福祉施設									7	123,500	13	363,000
	保育所・園									7	58,000	15	186,000
	合 計									14	181,500	28	549,000
会費合計										13,984	8,302,378	14,274	8,869,410

※令和2年度施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分（366,000 円）を含む。

イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付・指定寄付

（単位：円）

町 名	寄 付 者 名	金 額	付 記
追分町	イマイグループ安全衛生協力会	138,000	地域福祉事業
曾我部町	高橋 良男	10,000	子育て支援事業
篠町	トータルケア HARELU 鍼灸院	5,000	子育て支援事業
大井町	株式会社三煌産業安全協力会	550,000	地域福祉事業
大井町	大井町ゴルフ協会 会長 下久保清隆	50,000	地域福祉事業
曾我部町	山脇 昌行	10,000	地域福祉事業
西別院町	一志株式会社 代表取締役 常次正弘	300,000	地域福祉事業
匿名 8件		147,000	地域福祉事業
ふくかめ（寄付つき）自動販売機		184,969	年間8台分
合 計	16件	1,394,969	

○物品寄付・指定寄付

町 名	寄 付 者 名	寄 付 物 品
荒塚町	明治安田生命 京都支社亀岡営業部	タオル 123枚
つつじヶ丘	つつじヶ丘を美しくする会 （代表：廣田 勇）	チューリップ球根 50個
	郵便局長夫人会亀岡部会	雑巾 65枚
千代川町	山内 政道	車いす（介助式）
篠町	西田 房美	車いす
京都市東山区	一般財団法人 国際文教慈善基金会	薬用アルコール消毒ジェル 285ml ×120本
匿名 4件		タオル・肌布団・バスタオル・お米 45kg
合 計		10件

○『ふくかめ自動販売機』（寄付つき自動販売機）の設置推進事業

亀岡市の地域福祉を充実させるために、企業・自治会・地域の皆様が所有される建物や土地のスペースに自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

☆令和3年度 設置目標2台

⇒コロナ禍により設置候補地の利用状況の見通しが立たなかったため設置に至りませんでした。

【各自動販売機 寄付金実績】

(単位：円)

自動販売機設置場所 : 協力者	年間寄付金	備考 (設置期間)
吉川町公民館 (敷地内) : 吉川共栄報徳会	1, 0 4 8	H29 年 9 月 29 日設置 ※R3 年 5 月末日で終了
馬路町生涯学習センター : 馬路町自治会	4, 5 8 1	H29 年 9 月 29 日設置
ふれあいプラザ前 : 亀岡市社協	5 5, 5 2 3	H29 年 9 月 29 日設置
東つつじヶ丘ふれあいセンター : 東つつじヶ丘自治会	2 7, 5 7 4	H29 年 12 月 12 日設置
保津町自治会 (敷地内) : 保津町自治会	5, 5 6 7	H30 年 9 月 19 日設置
サンガスタジアム b y K Y O C E R A : 合同会社ビバ&サンガ	1 8, 3 0 3	R2 年 1 月 8 日設置
亀岡運動公園 体育館 2F 談話室 : 亀岡市パークコモンズ	3, 6 4 8	R2 年 5 月 1 日設置
保津川水辺公園 : 保津町自治会	6 8, 7 2 5	R2 年 5 月 1 日設置
合 計	1 8 4, 9 6 9	

(自動販売機設置協力事業所：(株)伊藤園)

令和 3 年度に『ふくかめ自動販売機』を通した上記寄付金を、令和 3 年 12 月に実施いたしました『ふくかめフードプロジェクト』（コロナ禍により困窮された世帯への食料品等配布事業、詳細は P44 参照）に活用させていただきました。

(3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年 4 回 3 2, 0 0 0 部/1 回

配布方法 自治会を通じての全戸配布及び市内関係機関へ配布

イ. ホームページ・フェイスブック・Instagram

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体として活動内容や各種情報を掲載しました。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議会

<http://www.fukukame-net.or.jp/>

(4) 名義後援

当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行いました。

事 業 名	名義後援 件数
地域福祉事業	6 件
高齢者福祉事業	2 件
障がい福祉事業	3 件
子育て支援事業	2 件
合 計	1 3 件

(5) 人材育成の取組

「きょうと福祉人材育成認証制度」は学生をはじめとした若者がなかなか福祉の業界を選ばない現状を改善するため、福祉業界が安心して働ける業界であることを示すために、京都府が本制度を創設しました。当協議会は平成 30 年度に認証を受けたところですが、今後も若者にとって働きやすい職場環境であることをアピールし人材を確保していくことを目的に、認証の更新を行いました。

また、職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指した、“職員による職員のための職員研修”は新しく入職した職員向けの「新人職員研修」、および職場におけるハラスメントや様々な人権問題に重きを置いた「人権研修」を実施し、職員間であらためて人権の大切さを確認し合いました。

ア. 「きょうと福祉人材育成認証制度」の更新に向けた取組み。

年 月 日	項 目	対応	内 容
令和 3 年 5 月 20 日 (木)	「きょうと福祉人材育成 認証制度」更新説明会 参加 (オンライン)	事務局長	・更新手続きについて ・認証更新審査について ・認証事業所のメリットにつ いて ・事業所ごとのヒアリングにつ いて
12 月 1 日 (水)	「きょうと福祉人材育成 認証制度」更新手続き	総務課	更新に必要な書類を府へ提出
令和 4 年 1 月 11 日 (火)	更新にかかるヒアリング	事務局長 総務課	府庁にて「認証状況確認表」に 基づきヒアリングを受ける
3 月 1 日 (火)	認証更新通知		

イ. 「亀岡市社協職員研修」

年 月 日	研修担当 係・センター	参加人数	内 容
令和 3 年 10 月 25 日 (月) ・ 11 月 2 日 (火)	各課長等	4 名	新人職員研修
令和 4 年 2 月 15 日 (火)	事務局長	25 名	人権研修『職場からつくる人権 尊重社会』

ウ. 社会福祉援助技術現場実習生受入れ

【趣旨】

当協議会では「福祉人材の育成」を大切な役割の一つと考え、その一環として社会福祉士受験資格取得に必要である「社会福祉援助技術現場実習」を積極的に受け入れています。

【実績】

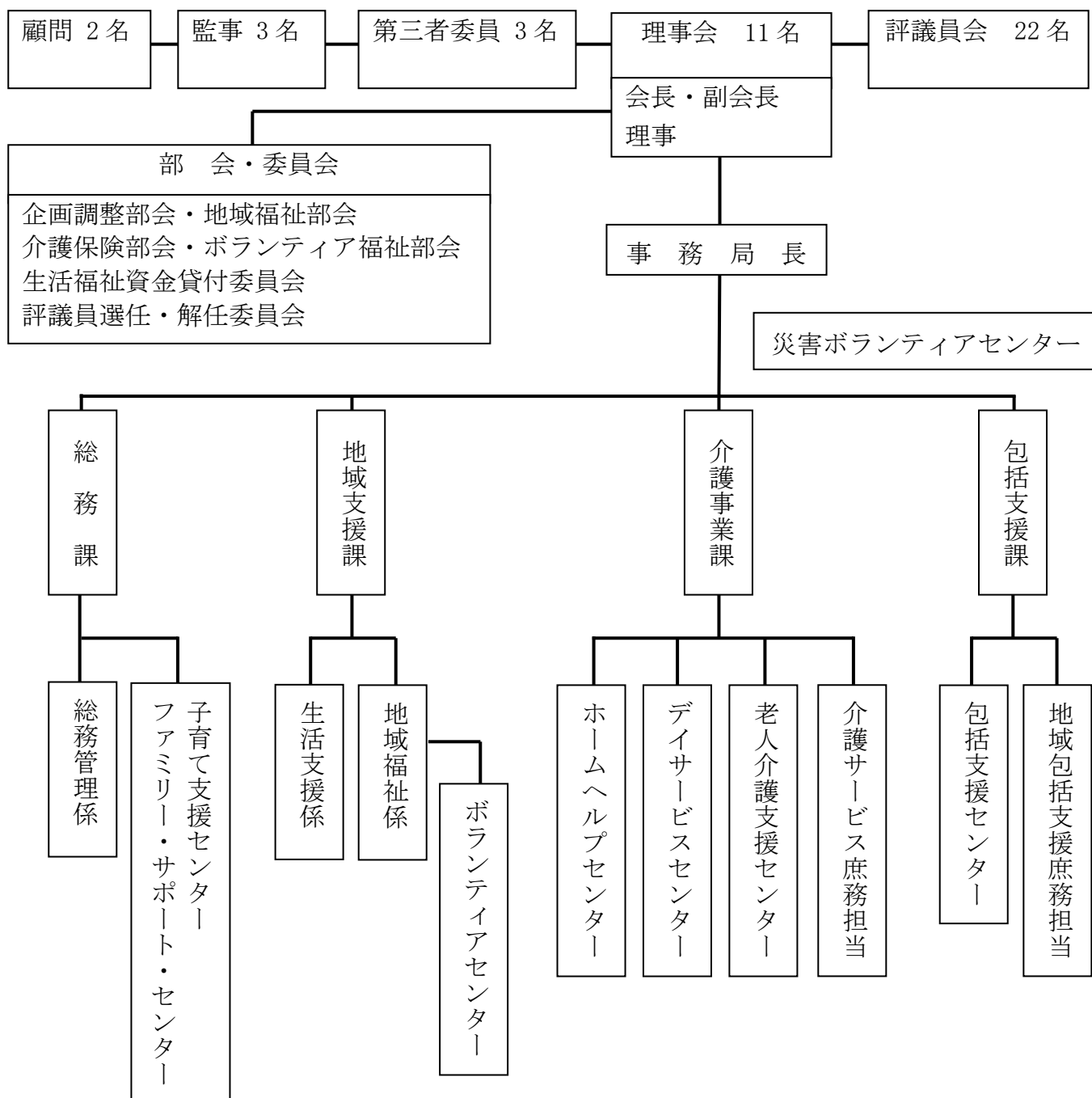
年 度	受入れ人数	依頼元大学
令和元年度	1 名	花園大学
令和 2 年度	2 名	佛教大学 (通学・通信 各 1 名)
令和 3 年度	0 名	

【趣旨】

【実績】

年 度	受入れ人数	依頼元大学
令和 3 年度	3 名	京都先端科学大学

登録ヘルパー15名 生活支援員18名 臨時職員20名)



(7) 亀岡市共同募金委員会

◎審査委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 6月24日(木)	ふれあい プ ラ ザ	6名	1. 令和3年度共同募金配分金助成事業について 2. 助成経費の見直しについて 3. 2次助成の実施について
第2回 令和3年 9月15日(水)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	6名	1. 令和3年度共同募金配分金助成事業実績に係る助成経費等の見直しについて（2次助成分） 2. 令和4年度共同募金配分金助成事業の各種様式の見直し（案）について
第3回 令和4年 2月14日(月)	書面決議	6名	1. 令和4年度共同募金配分金助成事業の各種様式の見直しについて 2. 令和4年度共同募金配分金助成事業の事業計画（案）について

※新型コロナウイルス感染拡大により 9/15 は参集から書面決議へ変更。

◎運営委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和3年 5月25日(火)	書面決議	10名	1. 運営委員の選任について
第2回 令和3年 6月1日(火)	書面決議	10名	1. 会長・副会長選任案の同意について 2. 監事の選任について 3. 審査委員の選任について 4. 顧問の選任について
第3回 令和3年 6月29日(火)	ふれあい プ ラ ザ	10名 (顧問 1名を含む)	1. 令和3年度亀岡市共同募金委員会事業計画及び予算について 2. 令和3年度共同募金配分金助成事業の助成団体審査・決定について
第4回 令和3年 9月30日(木)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	10名	1. 令和3年度歳末たすけあい運動について 2. 令和3年度共同募金配分金助成事業の助成団体審査・決定について（2次助成分） 3. 令和4年度共同募金配分金助成事業の実施要綱見直しについて
第5回 令和4年 3月4日(金)	ふれあい プ ラ ザ	8名	1. 令和3年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 令和4年度共同募金配分金助成事業について

※新型コロナウイルス感染拡大により 9/30 は参集から書面決議へ変更。

2. 地域福祉推進事業

(1) 「第3期かめおか地域福祉活動計画」の策定

【目的】

当協議会においては、平成29年3月に「改定版 かめおか地域福祉活動計画」を策定し、4つの基本目標に沿って、「支え合い 助け合いのある 顔の見えるまち・かめおか」の実現に取り組んできました。

一方で、高齢者、障がい者、子ども等の各分野では、ダブルケアや老々介護等の課題が複合化・雑化しているケースに加え、制度の狭間にあるケース、支援が必要であっても周囲に気付かれず地域の中で孤立しているケース等、課題が多様化しています。加えて、全国的な少子高齢化・人口減少社会の到来により、地域の担い手の減少や人々のつながりの希薄化が進んでいます。

国が示す「地域共生社会」の理念や亀岡市が策定した「第3期亀岡市地域福祉計画」等を念頭に置き、地域福祉課題への長期的・継続的な支援を実現し、誰もが安心して暮らしていける地域づくりを目的とし、亀岡市全体で地域のつながりや関係機関の連携強化に向けた取り組みを進めていく必要があります。それを具現化していくため各関係機関や行政機関と協働し「第3期かめおか地域福祉活動計画」を策定しました。

【策定委員】

- ・学識経験者…3名
- ・福祉関係者…7名
- ・行政機関…1名

【日程】

日 程	会 議 名	内 容
令和3年7月26日	第1回 地域福祉活動計画策定委員会	・亀岡市社会福祉協議会 事業の歩みについて ・亀岡市社会福祉協議会 地域福祉活動計画 現行計画の評価と第3期計画の方向性について
令和3年12月16日	第2回 地域福祉活動計画策定委員会	・計画素案の検討
令和3年1月26日 ～ 令和3年2月10日	パブリックコメント実施	
令和4年3月15日	第3回 地域福祉活動計画策定委員会	・パブリックコメントの結果報告 ・計画の承認
令和4年3月29日	答申	

(2) 暮らしのサポートサービス事業

【事業趣旨】

暮らしのサポートサービスは、日常生活を営むのに支障があり、何らかの理由で他の福祉サービスの利用等が困難な世帯に対し、市民の参加と協力により、非営利のボランティアな活動を基盤とした住民相互の助け合いによる福祉サービスを供給することにより、在宅福祉の充実と市民の福祉活動への積極的参加を促進することを目的とする事業です。

【支援内容】

○家事援助

- ・掃除（居室、風呂掃除、窓拭き等）
- ・洗濯
- ・買物
- ・調理
- ・庭の草引き
- ・入院中の病院での洗濯や買物
- ・その他

○外出同行

- ・病院、役所、買物等の外出時の付き添い

【活動実績】

○ 会員数

協力会員（実数） 30名（内、新規会員 6名）

利用会員（実数） 72名（ ” 15名）

○利用状況実数

- ・外出同行：受診の同行10件
 - ・家事援助：掃除55件 洗濯4件 買い物17件 調理8件 病院での洗濯・お遣い1件 軽作業16件 その他6件
- ※「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。
- ※ その他…話し相手、一緒にお留守番等。

○年度別活動実績

年 度	利用会員数（月平均）	協力会員数（月平均）	活動回数
令和元年度	34.3人	18.5人	1,222回
令和2年度	20.9人	12.7人	686回
令和3年度	17.6人	11.3人	589回

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症にともなう京都府への緊急事態宣言発出を受け、2回（令和3年4月25日～6月2日、令和3年8月20日～9月30日）の活動中止期間を設けました。

○協力会員研修・交流会

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、開催を見合わせました。

（3）亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

高齢者介護予防拠点事業は、運動・口腔などに係る介護予防に重点を置いた取り組みを行っており、今年度は身体と指先を動かすことにさらに力を入れた取り組みをすすめました。音楽に合わせて有酸素運動を行うことで、運動機能の向上や転倒予防に努めています。また、笑いヨガ、脳トレ・パステルアートを行なうことにより脳の活性化をはかっています。高齢者の生きがいとして、集中力を高める事が出来る書道にも取り組み、健康づくりと日常動作訓練や趣味活動、レクリエーションなどの機会を提供しています。今年度は、特にお手玉ボードを使い、筋力低下防止と計算することで脳の活性化に力を入れました。

【実施場所】

○曾我部いこいの家

毎週水曜日（年末年始・祝日を除く） 午前 10 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

【実施内容】

健康チェック、体操、脳トレ、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家	
	活動回数 (回)	延利用人数 (人)
令和元年度	49	356
令和2年度	35	252
令和3年度	33	241

※ 協力会員の登録は5名 一日の担当は2名

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、13回開催中止としました。
(R3年4月1回、5月3回、6月3回、8月2回、9月4回)

【事業成果】

定期的に通われ、運動や趣味活動に積極的に取り組まれています。自宅においても作品作りや脳トレなどに取り組まれるなど、楽しみながら覚えておく努力もされています。また来所されている皆さんと会話を楽しみ関わりを持っていただくことで、生きがいと介護予防につながっています。新型コロナウイルス感染予防のため、開催を控えたことにより、少し、筋力や認知機能の低下がみられた。平成13年度のスタートから継続して参加されている利用者も多く、毎週参加が筋力や認知機能の低下防止につながっていることがよくわかりました。介護予防を目的としているこの事業の大切さが成果として表れています。

(4) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

【支援の内容】

○福祉サービス利用の支援

- ・福祉サービスについての情報提供
- ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
- ・福祉サービス利用料の支払い等

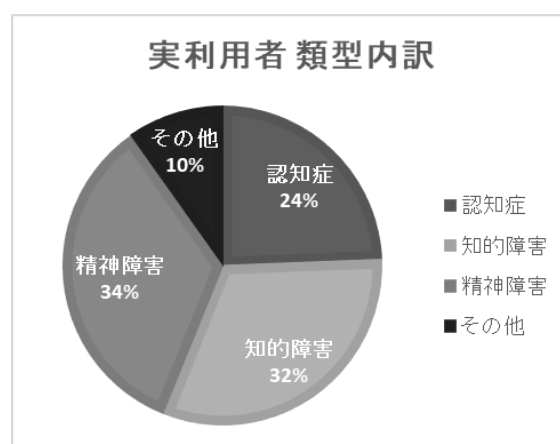
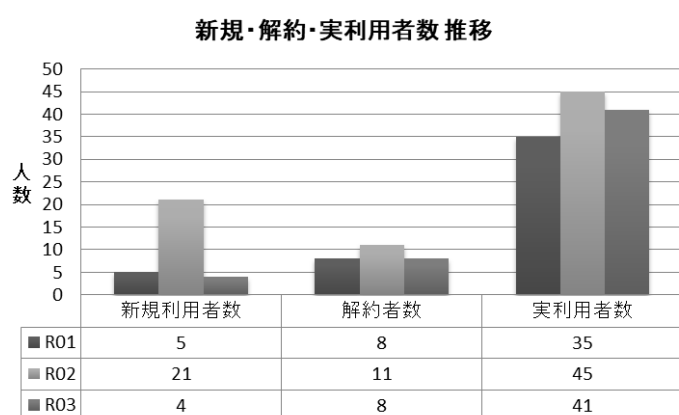
○日常的な金銭管理の支援

- ・年金や福祉手当などの受領手続き
- ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い

- ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
- ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
- ・その他、書類等の預かり

【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用者数 (人)	活動回数 (回)	
令和元年度	20	2	35	1,074	34
令和2年度	18	2	45	1,089	36
令和3年度	16	2	41	1,113	35



【事業成果】

近年、重層的課題を抱えた利用希望者並びに利用者が年々増加しています。それにともない、新規契約では契約前から複数回の訪問や関係機関との連携が必要となり、契約中の利用者では課題の複雑さから生活支援員に担当を依頼できず専門員が直接支援を担当するケースも増加しています。その結果、新規契約数は4名で令和2年度と比較して17名の減少、年度末利用者数は41名で令和2年度と比較して4名の減少となりました。

支援全体では、多角的な側面から対応することができました。例えば、ある利用者は、自宅が市中心部から遠く、スーパー等が近くにない生活環境と、「移動販売ではなく自分の目で見えて買物がしたい」という思いの間で悩んでおられました。利用者をはじめ、関係機関とも連携して、利用者が自分で買物に行ける方法考えた結果、地区の清掃や買物同行の支援をするボランティアグループにつなぐことができ、利用者が買物支援を受けながら自分の目で商品を見て買物ができる環境を調整することができました。このように利用者が地域との繋がりを再構築できるよう関係機関と連携を図り、利用者が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

(5) 生活福祉資金貸付事業

【事業趣旨】

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施しました。

【資金種類別内容及び実績】

○通常貸付

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的とした貸付金ですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況に収束がみられないことから、当初よりも特例貸付の申請条件が緩和されました。その影響もあり、通常貸付の総合支援資金の申請件数は0件となりました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合 計	0	0

② 福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
福祉費	3	334,000
緊急小口資金	0	0
合 計	3	334,000

③ 教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
教育支援費	6	3,699,000
就学支度費	8	2,626,000
合 計	14	6,325,000

○特例貸付

① 特例緊急小口資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯を対象に少額の費用の貸付を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
緊急小口	351	69,600,000
合 計	351	69,600,000

② 特例総合支援資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
総合支援資金(初回)	375	211,410,000
総合支援資金(延長)	145	81,600,000
総合支援資金(再貸付)	437	244,300,000
合 計	957	537,310,000

【事業成果】

前年度に引き続き『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』（特例貸付）への対応が大きなウエイトを占めました。令和2年3月に開始された特例貸付の申請期限は、当初は令和2年7月末までの予定でしたが、その後も国の方針により申請期限の延長を重ね、令和4年8月末までの申請期限となっています。

通常分・特例分合計で1,325件（前年度比 △547件減）の申請を受け付け、6億1356万9千円（前年度比 △1億7638万4千円減）の決定を府社協より受け、貸付希望者の生活再建に繋がるよう支援を行いました。

今年度については、本市内の中学校8校・高等学校2校の教職員(スクールソーシャルワーカーを含む)を対象とした『教育支援資金貸付制度についての説明会』を実施しました。また、教職員からの要望により、保護者向けの教育支援資金の案内用紙を、高等学校及び教育委員会を通じて各中学校へ配布することができました。その結果、教職員から直接ご相談をいただく機会が増え、保護者からも「案内用紙を見た」とご相談をいただく機会が増えました。今年度の実績を踏まえ、今後も高等学校及び教育委員会と連携を取り、説明会の実施と保護者向けの教育支援資金案内用紙の配布を定例化していくこととします。

(6) 福祉金庫資金貸付事業

【事業趣旨】

亀岡市民であって、自立更生の意欲のある世帯及び、特に必要と認める要援護世帯などに資金を貸付け、その生活の安定と自立更生に役立たせ、社会福祉の増進を図ることを目的とし、不時の出費などによって、最低生活を脅かされる恐れのある世帯、要援護世帯など、他からその必要な資金を得ることが困難な方に対して貸付を実施しました。

【貸付および償還実績】

令和3年度貸付分		令和3年度貸付分償還額	
貸付件数	2件	償還金額	20,000円
貸付金額	40,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1 年以内

※ 利 息： 無利子

【事業成果】

今年度は貸付件数・金額とも前年度と同水準となりましたが、特例貸付の入金があるまでの生活費のつなぎ、新型コロナ感染症生活今困窮者自立支援金の入金があるまでのつなぎなど、相談があった際には状況をしっかりと聞き取ったうえで本資金貸付が必要と判断した世帯については、柔軟・迅速に貸付対応をしました。

(7) 亀岡市生活支援体制整備事業

【取組概要】

令和3年度は、3年を1期とする亀岡市第8期介護保険事業計画（令和3年度から令和5年度）の開始年にあたります。第1層協議体の中に設置された「実務者会議」を活動展開の軸として、令和2年度の第1層協議体会議からの意見を踏まえ、以下について特に取り組みました。

【取り組み目標】

- a 「実務者」が地域を訪問し地域との関係を築きながら地域情報を把握する
- b 地域関係者・地域で活動する住民・関係団体とのつながりづくりから、事業の担い手「ともいきさん」の展開や、「第2層協議体」の創り出しにむけ活動する
- c 高齢者のふれあいサロン等の把握や支援、高齢者の社会参加の促進
- d 広報活動や情報発信を強化、生活支援体制整備事業への理解促進

1 令和3年度 of 取組内容

(1) 実務者会議を中心とした活動

第1層協議体会議のうち、地域活動者から選出された委員で令和2年7月から定期会議を設置し、事業活動方針の策定、地域での活動、協議をおこない事業を進めています。

【構成員】大石郁夫、小村晴江、藤本邦雄、山本眞之介（以上実務者）、寺町亜希子（第2層生活支援コーディネーター）、久本早美（第1層生活支援コーディネーター/市社協）（敬称略）（以下 生活支援コーディネーターをSCと表記します。）

①実務者会議の開催

毎月1回定例で実務者会議を開催し、事業展開の方向性や具体的な取り組み方を協議し、実務者が行動する中で、事業展開を行ってきました。

【取組内容】

実務者会議		
開催日	内容	出席人数
令和3年4月6日（火）	①2年度まとめ ②各圏域の状況について ③3年度実務者会議の運営・各団体との連携について	23名
令和3年5月18日（火） （ZOOM）	①令和3年度取組について ②地域展開について ③「ともいきさん」活動の展開について	10名

令和3年6月8日（火）	①実務者提案による地域展開プランについて ②「ともいきさん」活動者展開について ③各地域老人クラブの活動状況について	9名
令和3年7月7日（水）	①地域展開について（東別院町訪問結果） ②実務者の個別のプランの進行状況について ③「ともいきさん」活動者 展開について	8名
令和3年8月4日（水）	①実務者による地域展開・経過報告 ②「ともいきさん」展開方法について	8名
令和3年9月1日（水） （書面会議）	①ともいきさんパンフレットの作成 ②サロン代表者への声掛け聞き取りを実施 ③住民主体の移送支援	7名
令和3年10月6日（水）	①「ともいきさん」展開について ②旭町サポートカー見学とスタッフとの懇談 ③本年度前半の振り返りと今後の課題（意見交換）	7名
令和3年10月25日（月）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②「ともいきさん」の展開について ③共生のまちづくりのビジョンと指針（提案）を承認	9名
令和3年11月8日（月）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②共生のまちづくりの展開について	7名
令和3年12月1日（水）	①地域訪問報告（東本梅町・保津町・河原林町） ②地域包括支援センター訪問報告（川東・つつじヶ丘）	9名
令和4年1月18日（火）	①本年度事業のまとめ（本年度事業概要説明） ②次年度につながる本年度後半の活動について	9名
令和4年2月2日（水）	①本年度事業のまとめ ②「実務者会議」から「第2層協議体」への移行について	10名
令和4年3月2日（水）	①第1層協議体会議の報告について ②「第1層協議体」と「第2層協議体」としての活動の整理について ③「ともいきさん」活動の来年度本格スタートに向けての最終調整	10名

②実務者による地域訪問

より深く地域の実情を把握することを目的に、実務者が市内の各地に直接足を運び、地域関係者と懇談を行い、地域の状況を直に聞き取り把握するという活動方針を決定し、まず、「高齢化率の高い地域」や、「地域活動が活発に行われている地域」へ地域の実情や地域課題の把握のために訪問調査を行いました。

【取組内容】

実務者による地域活動団体への訪問			
実施日	訪問先	対象者	訪問者
令和3年5月27日(木)	東別院町自治会	自治会長	2名(社協)
令和3年7月5日(月)	東別院町自治会	自治会長・副会長2名	4名(実務者2名・SC・社協)
令和3年7月24日(土)	東別院町自治会	自治会長・副会長2名・区長12名・事務員	2名(実務者・社協)
令和3年7月29日(木)	蒔田野町自治会	自治会長・副会長2名・地区社協会長	5名(実務者3名・社協2名)
令和3年9月9日(木)	宮前町自治会	自治会長	2名(社協)
令和3年10月1日(金)	べついんいきいきサロン(西別院町)	4名(代表・相談役・スタッフ2名)	3名(実務者1名・社協2名)
令和3年10月19日(火)	旭町自治会	自治会長・副会長・市議・事務員	6名(実務者4名・社協2名)
令和3年11月4日(木)	薬遊会(下矢田町)	11名(代表・スタッフ10名)	4名(実務者2名・SC・社協)
令和3年11月10日(水)	西つつじヶ丘ほっと美山	15名(代表・スタッフ5名)	3名(実務者・SC・社協)
令和4年11月17日(水)	東本梅町ふれあい作品展	自治会長	4名(実務者2名・SC・社協)

【取組結果】

ア 高齢化率の高い地域への訪問と懇談の結果

東別院町、蒔田野町、旭町、東本梅町へ訪問する中で、各地域から共通して出てきたのは、

- ・若者世代の流出、少子高齢化がすすむなか、田畑の管理の担い手が不足し、耕作放棄地や空き家が増えたりなどの共通する課題がありながらも、自治会区長や氏子や檀家などの伝統的な地域のつながりなどはまだまだ機能しており、地域としての見守り力は健在である

- ・逆に、「住民同士のつながりの薄いつつじヶ丘地域などの新興住宅地のほうが大変ではないだろうか？」という意見もありました。地域の生活課題としては、

- ・親類縁者が近くにいない高齢者の免許返納後の移動手段など、切実な課題をもっている住民は存在しているが、地域全体が困っている状態ではない。ただ、

- ・10年後など先を考えると集落を維持できるか、息子娘世代が帰ってくるかなどの将来への不安は感じていること。

- ・地域のつながりが強く、見守り力があるとは言え、「認知症」を恥ずかしいとする意識があるという課題も浮き彫りになってきました。

イ 他の地域への訪問と懇談の結果

積極的に地域活動がなされている地域を訪問し、活動団体との懇談を行い、亀岡地区中部地域や西別院、西つつじヶ丘の高齢者ふれあいサロン活動への訪問や、自治会として移動支援サービスの立ち上げに取り組んだ「旭サポートカー」事業への見学、関係者との懇談をおこないました。住んでいる地域の将来を見据え、今出来ることを考え行動しようとい

う住民の意思が集まっての活動であると感じることができました。

③地域包括支援センターとの懇談

【取組内容】

地域包括支援センターとの連携（生活支援体制整備事業の概要説明と意見交換）			
実施日	連携先	包括支援センター対象者	対応者
令和3年11月22日（月）	亀岡	6名（管理者・ケアマネ・看護師）	2名（社協）
令和3年11月24日（水）	川東	4名（センター長 他3名）	3名（SC・社協2名）
令和3年11月26日（金）	つつじヶ丘	2名（センター長 他1名）	5名（実務者2名・SC・社協2名）
令和3年12月2日（木）	篠	2名（センター長・社福）	4名（実務者1名・SC・社協2名）
令和3年12月14日（火）	西部	2名（センター長・看護師2名・社福）	5名（実務者2名・SC・社協2名）
令和3年12月15日（水）	南部	1名（センター長）	3名（SC・社協2名）
令和4年1月17日（月）	西部	4名（センター長・看護師2名・社福）	6名（民生委員3名・SC・社協2名）
令和4年1月26日（水）	中部	4名（課長・センター長・保健師・社福）	5名（実務者2名・SC・社協2名）
令和4年2月7日（月）	西部	4名（センター長・看護師2名・社福）	7名（民生委員4名・主任児童委員・社協2名）
令和4年2月8日（火）	南部	3名（センター長） 看護学生2名	1名（社協 SC）

【取組結果】

各地域包括支援センターと懇談も行い、把握されている地域課題の聞き取りを行いました。地域の生活課題については、

- ・高齢になり免許返納との買い物や通院など移動手段に困る人が市内各地で出ていること
- ・介護認定では自立とされる高齢者でもゴミ出しに困る世帯があること、
- ・生活の困難が重なり地域からも孤立し、時には住環境の悪化も重なる深刻な世帯が少なからず存在し対応している
- ・担当圏域の中でも地域性の違いがあり、生活課題も地域により多様である

ことがわかりました。担当地域に係る高齢者サロンなどの情報共有、市の進める地域ケア推進会議に係るそれぞれの地域包括支援センターが考える地域へのアプローチの方向性を聞き取り、今後の連携を確認し地域包括支援センター職員と実務者、SCとの顔の見える関係づくりができました。

④実務者会議の運営と第2層協議体（準備会）への移行

本年度の活動展開の中で、実務者が高齢化率の高い地域や助け合いや支え合いの活動展開が活発な地域を訪問して地域関係者と懇談する中で、それぞれの見識を深め、地域の多様性も学ぶ中で、第2層協議体設置にあたり、「外からの働きかけでは十分でなく、実際に地域で活動している方々が地域課題に気づき解決にむけ動き始めるという内発的な主体性が必要である」という気づきを得ることができました。

そうした気づきから、地域で活動されている方への実務者の働きかけにより、実務者会議に、西部地域や篠・川東地域で普段から住民のニーズが自然とわかるような地域活動をされているメンバーを新たに2名迎えることができ、第2層協議体（準備会）移行にむけての「実務者会議」の体制的強化を図ることができました。

次のステップである2層協議体（準備会）への移行に歩みを進めることができ、年度末2月17日に開催された第1層協議体会議（生活支援体制整備推進協議会）において、実務者会議を第2層協議体（準備会）に移行することが正式に決定されました。

（2）「ともいきさん」の地域展開

【取組内容】

「ともいきさん」は、令和2年度の実務者会議の活動の中で今必要な仕組みとして創出されたもので「生活支援体制整備事業の担い手づくり」、「地域課題把握のツール（普段のくらしの目線から、見守りやちょっとした世話焼き活動の中で得た「気づき」を地域課題として集約し、「ともいきのまちづくり」に活かすしくみ）」、「地域資源（住民の互助による見守りや助け合い）」として考えだされました。

本年度は、各圏域に3名以上の「ともいきさん」を広げること为目标に取り組みました。



【取組結果】

「ともいきさん」の地域展開			
開催（訪問）日	開催（訪問先）内容	参加人数	SC・社協等
令和3年7月9日（金）	説明会・交流会	4名	4名（実務者・SC・社協2名）
令和3年10月21日（木）	下矢田町「楽遊会」	20名	1名（社協）
令和3年11月4日（木）	下矢田町「楽遊会」スタッフ説明	11名	4名（実務者2名・SC・社協）
令和4年3月10日（木）	下矢田町「楽遊会」スタッフ懇談	10名	1名（社協）

「ともいきさん説明会」を、市の介護予防サポーター有志、東別院町自治会区長会、西別院町や亀岡地区中部下矢田町あさひヶ丘等の高齢者ふれあいサロンをそれぞれ対象にして合計５回の説明会を開催しました。また、実務者のつながりの中で、社会福祉士会の有志４名もメンバー登録され、合計４４名がメンバー登録されました。

圏域別には、亀岡地区 ２７名、南部地域 ５名、中部地域 ２名、西部地域 １名、川東地域 ２名、篠地域 ４名、つつじヶ丘地域３名となっています。

現時点では、思いを共有する人として組織できた段階であり、圏域的にも偏りがありますが、情報集約方法や学びや交流など日常的な運営のしくみの整備もおこないながら来年度以降全市的に展開をしていくこととしています。

（３）関係団体との連携

【取組内容】

拡大版実務者会議			
開催日	開催内容	出席人数	
令和３年４月６日（火）	①令和２年度のまとめ ②各圏域の取り組み（地域包括支援センター）③本年度の実務者会議の運営および各団体との今後の連携について	23 名	

【取組結果】

４月に、亀岡市環境事業公社、シルバー人材センター、市民活動推進センター、地域包括支援センター、市社協など、関係団体参加のもと、拡大版実務者会議を開催しました。現在把握している地域課題が「高齢者のごみ出し」やいわゆる「ゴミ屋敷」といわれる状態のケースなど「ゴミ」に関わる課題が多いことから、今後解決にむけて取り組んでいくにあたり、プラットフォームにつながる連携の場ができたと考えています。

（４）高齢者の通いの場・ふれあいサロン等への立ち上げ支援や継続支援

【取組内容】

生活支援体制整備事業において、高齢者の通いの場やふれあいサロンは、介護予防や見守り活動において大きな役割を果たす団体であることは明らかなです。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、集まる場の開催が難しい状態が２年以上も続くなか、解散するサロンが出ることも危ぶまれ、活動継続への支援は喫緊の課題でした。高齢者の通いの場やふれあいサロンの再開にむけて、緊急事態宣言下の９月～１０月やまん延防止等重点措置期間中の１月にサロン団体への電話による活動状況の聴き取りを行い状況を把握し、活動内容の工夫や感染予防対策などの情報提供や励ましの手紙の郵送やＳＮＳ情報発信などサロン活動支援を行い、サロンスタッフを励まし、活動再開への働きかけを行いました。また新しく立ち上げようとする団体への相談支援も行いました。

【取組結果】

サロン等地域訪問			
訪問日	訪問先	対象人数	SC・社協等
令和３年４月１４日（水）	西つつじヶ丘「ほっと美山」	20 人	1 名（社協）
令和３年４月２２日（木）	東つつじヶ丘「ほっこりサロン」	10 名	1 名（社協）

令和3年7月30日（金）	馬路町「ふれあいサロン」	19名	1名（社協）
令和3年9月26日（日）	河原町「ふれあいサロン」	13名	1名（社協）
令和3年10月26日（火）	東つつじヶ丘 手芸クラブ「なかよし会」	6名	1名（社協）
令和3年10月2日（土）	内丸町「ふれあいカフェ」	10名	1名（社協）
令和3年10月11日（月）	南つつじヶ丘「カフェ」	29名	1名（社協）
令和4年10月12日（火）	宮前町「神前仲良し会」	15名	2名（社協）
令和3年10月15日（金）	馬路町「ふれあいサロン」	17名	2名（社協・市 高齢福祉課）
令和3年10月16日（土）	吉川町「ふれあいサロン」	17名	1名（社協）
令和3年10月21日（木）	下矢田町「楽遊会」	20名	1名（社協）
令和3年10月23日（土）	余部町「あまるべふれあいサロン」	26名	2名（社協・ 地域包括）
令和3年10月27日（水）	旭町「歌声広場あさひ」	6名	1名（社協）
令和3年10月28日（木）	千歳町「国分ふれあいサロン」	18名	2名（社協）
令和3年10月29日（金）	篠町第5見晴「遊快クラブ」	50人	2名（社協）
令和3年11月10日（水）	西つつじヶ丘「ほっと美山」	15人	3名（実務 者・高齢福祉 課・社協）
令和3年11月12日（金）	西別院町「べついんいきいきサロ ン」	13名	1名（社協）
令和3年11月12日（金）	中矢田町グリーンタウン「のんき倶 楽部」	12名	4名（社協・ 市健康増進課 3名）
令和3年11月13日（土）	京町「京町ふれあいサロン」	10人	1名（社協）
令和3年11月16日（火）	千代川町「ふれあいサロン」	38人	4名（社協・中 部包括 3名）
令和3年11月18日（木）	宮前町「猪倉ふれあいサロン」	10人	1名（社協）
令和3年11月19日（金）	下矢田町「楽遊会」	19名	1名（社協）
令和3年11月25日（木）	千歳町「国分ふれあいサロン」	17名	1名（社協）
令和3年11月29日（月）	篠町第6見晴「歌の会ドリーム」	9人	1名（社協）
令和3年12月3日（金）	亀岡地区東部「元気はつらつ教室」	16人	2名（社協）
令和3年12月4日（土）	馬路町「ふれあいサロン」	24名	1名（社協）
令和3年12月13日（月）	亀岡地区東部「いきいきサロン」	24人	2名（社協）
令和4年1月6日（木）	篠町地区社協「なんたん元気づくり 体操」	45人	1名（社協）

令和4年2月22日（火）	本梅町「ふれあいサロン」	21名	1名（社協）
令和4年3月22日（火）	本梅町「ふれあいサロン」	19名	1名（社協）
令和4年3月25日（金）	千代川町「小林区民ふれあい憩いの場」	17人	1名（社協）

令和2年度から続くコロナ禍により、ほとんどのサロン活動は休止状態となり、緊急事態宣言解除後も活動が難しい状態になりました。電話や対話により聴き取りをおこなった結果、活動再開されていた団体は、7月時点では26団体でした。高齢者の見守り・フレイル予防やサロン活動の解散を防ぐために、声かけ情報提供等の働きかけの結果、1月の聞き取り段階では再開団体が56団体まで増え、休止が継続している団体においてもスタッフ会議や訪問による見守り活動などされていることが確認され、解散団体がでることを防げたことは大きな成果です。働きかけの中で、スタッフとの関係性も深まり、「ともいきさん」登録につながるケースもいくつかあり、今後の「ともいきさん」展開の手ごたえを得ることができました。

（5）高齢者の社会参加への支援（就労的活動支援コーディネーター）

第1層SCが「就労的活動支援コーディネーター」も兼務し、高齢者のボランティア活動など社会参加の相談支援を行っています。「ちょこボラ」として生きがいづくり健康づくりを目的に身近にできるちょっとしたボランティアへの参加を「共生のまちづくりNEWS」等で広く広報し呼びかけました。

市社協として10月と2月の2回、ボランティア活動推進する広報チラシの発行を行い、問い合わせ等があった高齢者に対して、ボランティア活動への参加支援をおこない、うち1名は社会福祉施設でのボランティアにつながることができました。

（6）住民による地域課題解決に向けた取組みの情報収集（高齢者の移動支援等）

【取組内容】

地域課題にかかる情報収集			
対応日	内容	対象者	対応者
令和3年5月13日（木）	移送支援にかかる保険、助成金についての相談	宮前町地区社協会長	2名（社協）
令和3年5月14日（金）	地域情報聞き取り	旭町自治会長	1名（社協）
令和3年7月15日（木）	地区社協設立及び移送支援についての相談	西別院町自治会長	3名（社協）
令和3年7月20日（火）	移送支援についての調整	西別院町自治会長	3名（市桂川道路交通課2名・社協）
令和3年8月10日（火）	ボランティア移送支援立ち上げについての経過報告	宮前町・NPO法人 チョロギ村理事長	1名（社協）
令和3年8月24日（火）	地域情報及び移送支援についての聞き取り	旭町自治会長	2名（社協）

令和3年9月15日（木）	ボランティア移送支援立ち上げについての最終調整	宮前町・NP0 法人 チョロギ村 理事長 他1名	3名（市桂川道路交通課2名・社協）
令和3年9月28日（火）	地域情報及び移送支援の見学	旭町自治会長・民生委員	2名（社協）
令和4年3月10日（木）	ボランティア移送支援にかかる保険、助成金等勉強会	東本梅町自治会長・民生委員3名	1名（社協）
令和4年3月30日（水）	地区社協設立及び移送支援についての経過報告	西別院町自治会長・スタッフ・住民3名	2名（社協・京都新聞記者）

【取組結果】

免許返納後の高齢者の移動手段は、全市的に共通する生活課題の一つです。今ある地域交通を守ることも必要ため、安易にボランティア移動支援を広げることにはできませんが、バスの停留所から離れた地域も多く、高齢化率が高くなるにしたがい、免許返納後の高齢者が直面する買い物や通院の移動手段の確保の問題は避けては通れない課題です。地域の住民が解決にむけて一歩踏み出そうとする際にはじめの相談支援を行っています。道路運送法など法令順守のための情報、保険に関する情報、また他地域の事例についての情報などを整理し提供をおこない、一緒に考える立場で伴走支援を行ってきました。本年度、西別院町、宮前町、旭町において、住民によるボランティア移送支援の取組みが新しく始まりました。運用方法等活動団体についての情報収集をおこない、市桂川道路交通課、地域福祉課、高齢福祉課との情報共有の場を持ちました。

（7）広報・情報発信

11/15に、市民向け情報発信として、「共生のまちづくり NEWS」の全戸配布をおこないました。事業展開の様子を写真も多く掲載して広報を行いました。また、LINE（ライン）・Facebook（フェイスブック）・Instagram（インスタグラム）などスマートフォンで見ることのできるSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用し、情報発信に努めました。



（8）「地域カルテ 町別地域データBOOK」（R3年度改定版）の更新

23町ごとの地域情報を収集し、地域の姿や住民の活動の見える化を図るために、昨年度から「地域カルテ」の発行をおこなっています。本年度は、各自治会に追加情報や訂正について書面にて情報収集をおこない、また実務者を中心とした事業活動の中で聞き取った情報を加筆して内容の更新をおこない、関係者向けの資料としてまとめました。

特に、「町別高齢者ふれあいサロン活動状況調査(マップ)」と、「生活支援サービス一覧」のページを新たに加えました。



(8) 生活支援コーディネーター（SC）の活動

【取組内容】

① SC 定例会（市および生活支援コーディネーターとの事務連絡協議の場）

第1層SC 1名、第2層SC 1名が活動しており、市担当者、市社協事務局と定例の連絡協議の場を持ちながら事業を推進しています。

SC 定例会・市との打合せ		
開催日	内容	出席人数
令和3年4月15日（木）	①委託契約仕様書について（協議・意見交換等）	6名
令和3年4月22日（木）	①令和3年度 生活支援体制整備事業の方針について ②ともいきさん／説明会&交流会（4/27）について ③5/11 実務者会議について 他	5名
令和3年4月26日（月）	4/22 欠席の寺町 SC に報告・意見交換	3名
令和3年5月20日（木）	①5/18 実務者会議（コア会議）の振り返りについて ②6/8（火）13:30～ 実務者会議について ③就労的コーディネーターの事業内容について ④地域カルテについて	5名
令和3年6月24日（木）	①実務者による地域展開について ②東別院町での地域展開について ③ボランティアに関するアンケートの実施について ④地域カルテについて	5名
令和3年7月15日（木）	①7/5 東別院町自治会への実務者・SC による訪問 ②7/7 実務者会議について ③ともいきさん説明会&交流会 ④住民による移送支援	5名
令和3年8月19日（木）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②8/4 実務者会議でのふりかえり 他	4名
令和3年9月16日（木）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②実務者会議について ③広報について 他	5名

令和3年10月21日（木）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②来年度以降の展開ビジョンについて（事務局提案） ③実務者会議について 他	5名
令和3年11月26日（金）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②今後の展開について ③実務者会議について 他	5名
令和3年12月23日（木）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②今後の展開について ③第1層協議体開催について 他	5名
令和4年1月13日（木）	1/18 実務者会議に向けての打合せ	2名
令和4年1月27日（木）	①地域での展開（前回定例会以降の動き）について ②今後の展開について 他	5名
令和4年2月24日（木）	①2/17 生活支援体制整備推進協議会（第1層協議体） ②本年度中に対応すべき点について ③3/2 実務者会議の内容について	5名
令和4年3月29日（火）	①本年度の到達点についての意識あわせ ②来年度の事業展開について	5名

②地域ケア個別会議への参加

厚生労働省の進める地域ケアシステムの構築において「地域ケア会議」が位置づけられており、亀岡市では、高齢者の自立支援や介護予防の観点から「地域ケア個別会議」が継続開催されています。SCとして参加し、個別のケース検討において地域資源の情報提供をおこなうとともに、地域課題把握を行ってきました。

地域ケア個別会議		
開催日	内容	出席人数
令和3年5月13日（木）	①会議の目的・目標・流れについて ②「自立支援」の考え方について ③令和3年度地域ケア個別会議の作業工程	15名
令和3年5月25日（木）	①2事例について手法研究	16名
令和3年7月27日（火）	①2事例について手法研究	18名
令和3年9月28日（火）	①2事例について手法研究	19名
令和3年10月26日（火）	①2事例について手法研究	20名
令和3年11月25日（木）	①2事例について手法研究	18名
令和3年12月21日（木）	①2事例について手法研究	17名

③地域への連携訪問

今後の事業展開にむけての地域の関係者との関係づくりのために訪問を行いました。

地域への連携訪問			
訪問日	内容・話題	訪問先・対応者	訪問者
令和3年9月9日（木）	地域の生活課題について	宮前町自治会長	2名（社協）

令和3年11月14日(日)	篠町防災ウォーク見学	安詳小学校～長尾山登山口広場（住民約170名参加）	1名（社協）
令和3年12月19日(日)	亀岡地区中部 美化・グラウンドゴルフ・ゲームのつどい	亀岡地区中部地区（住民約60名参加）	1名（社協）

④研修その他

市や関係機関からの情報提供を受け、生活支援体制整備にかかるさまざまな情報収集のために研修等に参加を行いました。

研修その他			
実施（参加）日	内容	実施機関・主催者・懇談者	参加者
令和3年4月28日(水)	UR コミュニティ京都住まいセンターとの懇談	1名（UR コミュニティ京都住まいセンター）	2名（社協）
令和3年6月18日（金）	移送支援にかかる情報共有	1名（市桂川道路交通課）	3名（社協）
令和3年7月1日（木）	カシオ計算機 地域づくりのための ICT ツールについての説明	1名（カシオ計算機㈱）	4名（市高齢福祉課・社協3名）
令和3年7月2日（金）	（公財）京都 SKY センターとの懇談	2名（京都 SKY センター）	3名（社協）
令和3年9月1日（金）	「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」（オンライン開催）	（公財）さわやか福祉財団	6名（実務者3名・SC・社協2名）
令和3年10月20日(水)	「支えあいを広げる住民主体の生活支援フォーラム」（ZOOM）	全国社会福祉協議会	1名（社協）
令和3年10月29日(金)	移送支援にかかる情報共有	3名（市桂川道路交通課2名・地域福祉課）	3名（社協）
令和3年11月30日(火)	第9回きょうと地域福祉活動実践交流会（オンライン開催）	京都府市町村社会福祉協議会連合会	33名（地域住民25名・社協8名）
令和3年12月8日（水）	生活支援体制整備推進のための研修会（ZOOM）	京都府	4名（実務者・SC・社協2名）
令和4年2月9日（水）	市高齢福祉課・市老連役員との懇談	6名（市高齢福祉課3名・市老連3名）	1名（社協）

令和4年1月19日（水） 及び2月16日（水）	地域リーダー養成事業 「地域のW a を広げよう」（オンライン開催）	京都府京都丹波パートナーシップセンターほか	1名（SC）
----------------------------	---------------------------------------	-----------------------	--------

【取組結果】

本年度は、SCがあわせて2名の体制で事業を行っており、実務者による地域での活動展開と第2層協議体設置につながる地域活動者とのつながりづくりのための地域訪問に注力し活動しました。

関係者や関係機関との連携については、体制整備事業への理解について得られた段階で、今後、地域課題解決や第2層協議体の充実にむけて具体的な協働にむけ更に関係を築いていく必要があります。

（9）第1層協議体の開催

【構成員】学識経験者、医師会代表、社会福祉法人、ボランティア代表、自治会連合会、南丹広域振興局（保健所）、住民代表、市、市社協

【開催内容】日時：令和4年2月17日（木）14：00～15：45

場所：亀岡市役所 602-603 会議室 および ZOOM参加

（委員13名中、欠席1名、対面出席7名、ZOOM出席5名）

【開催結果】

報告	生活支援体制整備事業とは（市より）	承認
	令和3年度 of 取組報告（市社協SC）	承認
提案	実務者会議を第2層協議体（準備会）へ移行	承認
	第2層協議体生活支援コーディネーターの増員	承認
	第1層協議体メンバー構成の改編について	承認

委員からは「実務者会議の活動内容から第2層協議体への移行は妥当であり必要である。今後第1層協議体がどこまで機能できるか、また重層的支援体制整備とも協調しながら進めていくべき」という意見や、「第2層協議体は行政が割り当てるというものでなく今後の活動展開の中で、地域住民の意思に沿って進んでいくものである」等の意見が出されました。

2 令和3年度 of 取組結果

①「第2層協議体（準備会）」発足

令和3年度は、日常生活圏域での地域課題解決に取り組む地域関係者の協議の場である「第2層協議体」の設置にむけ、まずは中間的なステップとして、「第2層協議体（準備会）」を発足させることを第一の重点目標として取り組み目標を達成することができました。

第1層協議体メンバーである実務者自らが市内各所の地域に入り関係者と懇談を行い、より深い地域の実情の理解の中で地域課題を把握し理解を深めること、また地域で活動する方との顔の見えるつながりづくりを行いながら、新しいメンバーを実務者として迎え入れ活動の幅を広げた結果、「実務者会議」が組織的に成長し、第2層協議体（準備会）への移行につながりました。

②「ともいきさん」活動の展開

昨年度に創出した「ともいきさん」活動をブラッシュアップし、実際に住民に広げ る

ことを、第二の重点目標として取り組みました。

「ともいきさん」とは、日常目線で普段から周りの方にゆるやかな見守りや寄り添う活動をおこない、お互いさまで助け合いを自然に行う人であり、その「ともいきさん」が普段の活動の中で気づいた地域の課題や発見を愚痴や世間話で終わらせるのではなく、「共生のまちづくり」に活かすために情報提供もおこなう、生活支援体制整備事業の草の根の担い手でもあります。

自治会等への説明会などでは、「新興住宅地むけの取組ではないか」という意見も聞かれましたが、地域の高齢者ふれあいサロン等へ「ともいきさん」を広げる取り組みの中での住民からは「(旧村でも)失われつつある地域のつながりを、もう一度結び直すような取り組みであり、誰にでもできる」「人とのつながりの中で、生きがいや日々の楽しさを実感できるような取り組みである」と歓迎する声も聞かれ、今後の手ごたえを感じることができました。

③地域の生活課題の把握

数年にわたり圏域ごとの地域課題の把握に取り組んできた中で、地域の生活課題については、前出のとおり、高齢者の免許返納後の移動手段の課題、高齢者のゴミ出しやゴミに関わる課題が市全域に共通する生活課題であると把握してきました。

本年度は圏域ごとの地域課題把握を目標に、実務者とともに地域を訪問し関係者に聴き取りを重ねてきました。その結果、

- ・地域課題（ニーズ）は、客観的に地域に存在するものでなく、住民自身が気づき自覚し、住民の中で共有されはじめて地域課題となるものであり住民の活動と一体のもの
- ・地域課題把握の手法は、ニーズを探すのではなく、地域活動者となつながら、それぞれの地域の魅力や可能性をみつける活動の中で見つかる課題を共有していくことであり、解決に向けた活動は、それらの地域活動者に第2層協議体活動に迎え入れていくことであるということに気づくことができたことが一つの成果です。

地域の生活課題についての自治会への聞き取りでは、「5年後10年度はわからないが今は何とかなっている、持ちこたえている」という声が多数をしめているのも事実です。そのような中で、今後の地域課題の把握は「ともいきさん」の登録者を増やしネットワークを広げ、地域情報や困りごと相談内容を丁寧に集めていくことが有効であるというのが実務者会議の結論です。

④S C活動／関係団体との連携

関係者や関係機関との連携については、体制整備事業への理解について得られた段階で、今後、地域課題解決や第2層協議体の充実にむけて具体的な協働にむけ更に関係を築いていく必要があります。

地域課題の解決のしくみづくりにおいては、関係団体・関係機関との更なる理解促進と協力関係の強化は不可欠です。今後は、第1層S Cと第2層S Cの活動が並行して進んでいくようにS Cや事務局体制の強化も図り進めていきます。

⑤生活支援体制整備事業への理解のひろがり

・「地域カルテ」作成作業における各町自治会の協力や、実務者の地域訪問による地域活動者との連携活動

・高齢者ふれあいサロン支援の中でのサロンスタッフとの関係づくり

・「ともいきさん」の輪を広げるための対話活動

の中で、この事業の「見える化」が進み、事業自体への理解も広がりました。

3 今後の課題

発足した第2層協議体（準備会）の活動を強化し、単なる協議の場でなく各地域の活動者が集まって懇談し、事業を進める連絡会的な場に発展させながら、一定のエリアの協議の場がいくつかできるような活動展開を目指していきます。

今後は、第1層SCと第2層SCの活動が相乗的に進んでいくように、第1層SC1名、第2層SC3名（内社協1名）事務局1名（社協）と体制強化も図り進めていきます。

（8）福祉生活課題解消支援事業

①講演会

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、「老いる前の整理について考える」と題し、地域でつながりながら健康で安全に暮らせる生活について考える機会として講演会を開催しました。地域で生活される方からの関心が高く、定員を超える応募がありました。講師には、実際にゴミ屋敷などに対応されている団体の方を招き、事例報告や物の関わり方などの話を受けました。

②ふくかめスマイルフードプロジェクト

新型コロナウイルスの影響で生活に困難を抱える世帯に対し、年末年始を安心して過ごしていただくための生活物資を配布しました。あわせて希望者には困りごとの相談や特例貸付の情報提供を行い、生活向上のきっかけとなることを目的とし実施しました。また、物品の寄付や仕分け作業、当日の配布作業など、各関係機関やボランティアと協働し開催することができました。

日時：令和3年12月26日（日）10：00～16：00

場所：ふれあいプラザ前

対象：180人（61世帯）※事前予約制

ボランティア：延べ31名

食品等の物品ご寄付：43件

（9）社会的孤立防止対策事業

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを構築し、地域福祉の推進を行うこと、また、社会的孤立が危ぶまれる人を発見する、適切な機関に「つなげる」、どこにもつながらない人や地域との関わりを拒否している人などを「見守る」の3つの柱を基本に、「見守る」ためのネットワークづくりを中心として事業を実施しました。

地域福祉コミュニティ推進のための事業

1. 地区社会福祉協議会の推進及び支援

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等を積極的行いました。

2. 自治会訪問による福祉コミュニティの推進

地域の実状や資源・ニーズ把握を行うことで、住民相互の支え合いによる共助の取り組みや地域全体で「見守る」ためのネットワークづくりの構築に努めました。

3. 地域サロン活動の推進

亀岡市内において、各地域でサロン活動が広がりをみせており、訪問し運営方法

や内容について支援を行いました。

4. 地域福祉活動の推進

各地域単位の地域福祉活動が推進されるよう、相談対応や助成金支援を行いました。

地域福祉コミュニティ推進のための事業		
1. 自治会・地区社協訪問による福祉コミュニティの推進		
日時	内容	場所・参加人数
令和3年6月19日(土) 13:00～15:30	「老いる前の整理について考える講演会」	ガレリアかめおか 70名
令和3年7月14日(水) 9:30～10:15	西別院町地区社会福祉協議会の設立について	西別院町自治会 4名
令和3年7月29日(木) 10:00～11:30	穂田野町自治会・地区社協「地域課題について」	穂田野町自治会 5名
令和3年8月19日(木) 10:00～10:20	西別院町地区社会福祉協議会の設立について	西別院町自治会 3名
令和3年8月20日(金) 19:30～20:15	西別院町地区社会福祉協議会の設立について(勉強会)	西別院町自治会 18名
令和3年8月24日(火) 9:40～10:20	旭町自治会 「旭サポートカー」について	旭町自治会 3名
令和3年11月30日(火) 13:30～16:30	第9回きょうと地域福祉活動実践交流会	サンガスタジアム会議室A 26名
令和4年1月15日(土) 13:00～15:30	「老いる前の整理について考える講演会」	ガレリアかめおか 27名
令和4年2月14日(月) 9:30～11:45	西別院町地区社会福祉協議会の設立について	西別院町自治会 3名
令和4年3月18日(金) 19:00～20:15	西別院町地区社会福祉協議会の設立について(設立準備会)	西別院町自治会 17名
2. 地域サロン活動の推進		
日時	内容	
年間を通して随時訪問	亀岡市内の各サロン訪問 36件 ※訪問することで活動内容の把握、活動者や利用者の声を聴き、地域福祉活動推進の参考にした。 資料2	
令和3年9月、10月、 令和4年1月	緊急事態宣言中やまん延防止等重点措置の期間中に電話での聞き取り調査 61団体 再開にむけて準備をされていたサロンの今後の活動の予定や活動状況の聞き取り	
令和3年12月7日 (火)、9日(木)、10日 (金)	「サロンなんでも話そう会」開催 11団体(14名)参加 サロン活動者が気軽に相談できる居場所として開催。 サロン活動の写真展示、活動の参考になる本の貸し出し、運営相談を行った。	
3. 地域福祉活動に関する相談		

日時	内容	件数
年間を通して随時受付	・運営について ・助成金について ・ボランティアについて	対応件数 150 件 自治会 13 件 地区社協 11 件 サロン 51 件 その他 75 件
地域福祉活動の推進(赤い羽根共同募金配分金助成事業)		
申請団体	内訳	
59 団体	自治会 6 団体、地区社協 10 団体、サロン 20 団体、 その他 23 団体	
地域福祉活動の推進(地域ひとつなぎ事業)京都府社会福祉協議会の助成金		
申請団体	内訳	
16 団体	自治会 5 団体、地区社協 4 団体、サロン 4 団体、 ボランティア 3 団体	

II 地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くなっています。相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら、解決に向け取り組みました。その他、電話による状況確認、訪問など、継続的でさりげない見守り等も行いました。

(相談件数 175 件、対応回数 181 回、前年度比：相談件数+74 件、対応件数-18 回)

地域の共助の取組及び孤立防止対策のための相談支援事業総合相談		
日時	内容	人数
年間を通して随時受付	・ひきこもり ・ゴミ屋敷 ・身近な困りごとなど	相談件数 175 件 対応回数 181 回

III 見守りサポーターの養成・活動充実

要配慮者の見守り支援を行うサポーター（社協寄り添いサポーター）の養成と活動充実。定例会の開催において、活動についての話し合いや、技術の向上を図った。定例会において、活動内容や対応等について意見交換や情報共有を行った。また、広報にも注力し、関係機関への周知（紹介、説明等）、マッチング、訪問活動を行いました。活動は 3 件、19 回の対応でした。（前年度比：+2 件、+11 回）

見守りサポーターの養成		
日時	内容	場所・参加人数
令和 3 年 4 月 15 日(木) 10:00~11:10	訪問活動	2 名
令和 3 年 6 月 16 日(水) 13:25~14:25	訪問活動	4 名

令和3年6月17日(木) 10:00～10:15	訪問活動	2名
令和3年7月13日(火) 10:00～11:45	第1回 定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 8名
令和3年7月15日(木) 10:00～11:15	訪問活動	2名
令和3年9月15日(水) 14:30～15:30	訪問活動	2名
令和3年9月16日(木) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和3年10月12日(火) 10:00～12:00	第2回 定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 9名
令和3年10月20日(水) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和3年10月21日(木) 10:00～11:10	訪問活動	2名
令和3年10月22日(金) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和3年11月17日(水) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和3年11月18日(木) 10:00～10:05	訪問活動	2名
令和3年11月18日(木) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和3年12月15日(水) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和3年12月16日(木) 9:55～10:05	訪問活動	2名
令和4年1月20日(木) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和4年2月16日(水) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和4年2月17日(木) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和4年2月21日(月) 10:00～12:00	第3回 定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 7名
令和4年3月16日(水) 13:30～14:30	訪問活動	2名
令和3年3月17日(木) 13:30～13:40	訪問活動	2名
令和4年3月24日(木) 13:30～15:05	ゲートキーパー養成講座	市役所800会議室 4名

- Ⅳ 青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業
1. 見守りの対象者となりがたい人への支援として、ひきこもり家族教室を開催しま

した。家族教室では、講師を招き当事者への関わり方を学ぶ会や家族の思いの共有する会などを開催し、家族同士のつながりが構築されました。

(年 4 回実施、参加人数のべ 24 名、前年度比 : +1 回、+4 名)

2. ひきこもりがちな方が安心して出かけられる居場所の一つとして、ひきこもり状態にある方の社会参加支援事業としての居場所『秋桜(コスモス)』も月に一度のペースで開催し、ひきこもり状態である方や、その家族の過ごす場として利用され、相談を受ける中で、就労に向けた行動をされた方がいらっしゃいました。

(年 12 回実施、参加人数のべ 44 人)

3. 福祉関係、教育関係など、支援機関同士のつながりを目的とした「絆 HUB 会議」や「絆ネットワーク会議」の開催など、支援強化のための連携体制に努めました。
4. 相談窓口周知のため、広報やチラシの全戸回覧、公式 LINE や公式 Instagram を活用し、広報を行いました。併せて、ひきこもりにかかる相談支援の強化・拡充を行っているところです。(LINE 配信 11 回・Instagram 配信 5 回)

総合相談窓口での、ひきこもりに関する相談対応は 21 件 78 回でした。

(前年度比 : +7 件)

青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業 ひきこもりに係る相談支援の強化・ひきこもり教室などの支援事業の実施		
日時	内容	場所・参加人数
令和 3 年 4 月 8 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑧	寄って亭 4 名
令和 3 年 5 月 13 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑨	寄って亭 5 名
令和 3 年 6 月 10 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑩	寄って亭 5 名
令和 3 年 6 月 26 日(土) 13:30~15:00	第 1 回家族教室 「脱ひきこもりセンター 講演」	ふれあいプラザ世代間交流 室 11 名
令和 3 年 7 月 8 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑪	寄って亭 4 名
令和 3 年 8 月 12 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑫	寄って亭 1 名
令和 3 年 9 月 9 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑬	寄って亭 5 名
令和 3 年 10 月 14 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑭	寄って亭 3 名
令和 3 年 10 月 22 日(木) 13:30~15:40	第 3 回家族教室 「パステルアート」	ふれあいプラザ世代間交流 室 4 名
令和 3 年 11 月 11 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑮	寄って亭 3 名
令和 3 年 12 月 9 日(木) 11:00~15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑯	寄って亭 3 名

令和3年12月24日(金) 13:30～15:30	第4回家族教室 「クリスマス会」	ふれあいプラザ世代間交流 室 3名
令和4年1月13日(木) 11:00～15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑰	寄って亭 2名
令和4年2月10日(木) 11:00～15:00	社会参加支援事業居場所 『秋桜(コスモス)』⑱	寄って亭 2名
令和4年2月25日(金) 13:30～15:40	第5回家族教室 「家族の体験談」	ふれあいプラザ世代間交流 室 6名
	内容	
年間を通して随時	家族教室の案内などの配信 (LINE・年11回、Instagram・年5回)	
各支援機関との連携推進		
令和3年4月22日(木) 10:30～12:10	第1回絆HUB会議	学びの森 8名
令和3年6月3日(木) 10:25～12:15	第2回絆HUB会議	学びの森 8名
令和3年7月29日(木) 9:20～11:40	第11回なんたん絆ネッ トワーク会議	亀岡市総合福祉センター 53名
令和3年8月5日(木) 10:30～12:00	第3回絆HUB会議	松花苑 7名
令和3年10月7日(木) 10:30～12:05	第4回絆HUB会議	学びの森 6名
令和3年10月27日(水) 14:00～16:05	ひきこもり支援対応強化 研修	ガレリア亀岡大広間
令和3年11月15日(月) 13:30～14:40	亀岡市地域福祉関係者会 議	亀岡市役所会議室 19名
令和3年11月25日(木) 9:20～11:40	第12回なんたん絆ネッ トワーク会議	亀岡市総合福祉センター 48名
令和3年12月2日(木) 10:35～12:00	第5回絆HUB会議	ふれあいプラザ 6名
令和3年12月3日(金) 14:00～16:20	地域福祉課題別研修(1 日目)	ふれあいプラザ相談室2 (ZOOM会議) 20名
令和3年12月17日(金) 13:30～16:10	地域福祉課題別研修(2 日目)	竹野基幹集落センター 9名
令和3年1月14日(金) 13:30～16:20	地域福祉課題別研修(3 日目)	丹波マークス(コミュニテ ィホールA) 9名
令和4年1月20日(木) 10:00～16:30	絆ネット・見守りネッ トワーク活動連絡会	ふれあいプラザ相談室1 (ZOOM会議) 約50名
令和4年1月27日(木) 10:00～12:20	第37回なんたんラウン ドテーブル	南丹広域振興局 15名

V 対応した要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月に一回、市と社協の担当者で会議を行い、事業の進行状況の確認と、情報共有、個別ケースについて話し合いを行ったほか、必要に応じ、包括、民生委員等の連携機関を含むケース検討会も実施しました。

亀岡市・市社協定例会		
日時	内容	場所・参加人数
令和3年4月19日(月) 9:30~10:20	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和3年5月24日(月) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和3年6月21日(月) 9:30~10:25	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和3年7月19日(月) 9:30~10:15	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和3年9月21日(火) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和3年10月18日(月) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和3年11月22日(月) 9:30~10:25	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和3年12月21日(火) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和4年1月25日(火) 9:30~10:15	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和4年2月15日(火) 9:30~10:20	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和4年3月15日(火) 9:30~10:20	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名

VI 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、サロン活動を中止や休止されていた団体が多くあったものの、感染状況を確認しながら開催されているサロンに積極的な訪問を行いました。また、ひきこもり状態にある者の就労支援のために、現場の見学や受け入れについての検討を行いました。

第9回きょうと地域福祉活動実践交流会に参加し、地区社協、自治会役員の方々に案内することで、自分たちの地域でできることを考えてもらうきっかけになりました。

地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業		
日時	内容	場所・参加人数
令和3年11月6日(土) 13:30~16:00	八幡市社協福祉委員交流会	オンライン
令和3年11月25日(木) 18:30~21:00	チームオープンセサミトークイベント	ひと・まち交流館京都

令和3年11月30日(火) 13:30～16:00	きょうと地域福祉活動実践 交流会	サンガスタジアム会議室 A (ZOOM 会議)
令和3年12月13日(月) 13:30～14:40	デイサービスセンターさく ら就労支援事業見学	デイサービスセンターさく ら 5名
令和4年3月15日(火) 18:30～20:00	わかくさりビング・夜のユ ースセンター共同報告会	INDEPENDANTS (京都市内)

VII 地域包括支援センターをベースとする7圏域別調査業務の実施

地域包括ケアシステムの構築に向けた、地域ケア推進会議の関係機関が把握している地域の現状についての調査業務を実施しました。

地域ケア推進会議*を効果的に開催するための地域情報を調査した業務	
聞き取り先	①地域包括支援センター ②民生委員 ③地域サロン ④社協寄り添いサポーター
聞き取り内容	・地域状況について ・地域が目指している将来像はどのようなものか。 ・地域課題は何か。また、地域課題のうち何を優先して解決すべきと考え、どのような関係機関と連携しているか。
圏域	・亀岡圏域 ・南部圏域 (東別院町・西別院町・曾我部町) ・中部圏域 (吉川町・蔦田野町・大井町・千代川町) ・西部圏域 (本梅町・畑野町・宮前町・東本梅町) ・川東圏域 (馬路町・旭町・千歳町・河原林町・保津町) ・篠圏域 ・つつじヶ丘圏域 (東つつじヶ丘・西つつじヶ丘 南つつじヶ丘)

*地域ケア推進会議：地域に必要な取組を明らかにして施策を立案・提言する会議

【事業成果】

地域毎に、お話を聞かせていただくことで生活環境や交通環境、社会的資源の有無、地域課題の相違等を把握していく良い機会となりました。

各圏域に共通することは、地域においても連携の必要性、顔の見える関係づくりの意識を持っていたに社協として大変心強く感じました。

今後も、住民の皆さまに寄り添う姿勢を忘れず地域福祉推進のために邁進していきます。

VIII その他地域福祉の推進を図るために必要となる事業

当事者団体への支援として事務局を担うことにより、当事者同士のつながりづくり等の事業に関わりました。

- ・亀岡市老人クラブ連合会
- ・亀岡ボランティア連絡協議会
- ・亀岡市社会福祉施設協議会
- ・亀岡市母子寡婦福祉会
- ・亀岡市障害児者を守る協議会

【事業成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な地域活動が中止になったことで、サロンスタッフや参加者のモチベーションが下がり、精神的・身体的機能低下防止のため亀岡市健康増進課保健師と連携し、依頼団体へ感染防止策や安心して活動に参加できる方法についての相談支援を行うなど、新しい生活様式の中でできることを考えることができました。

相談窓口の広報・周知を行ったことで、相談件数も増加傾向にあります。また、他機関と情報交換や連携を行う中で、継続相談対応者の中には、少額ながら収入を得ることにつながった事例もありました。

(10) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ベッド貸出 27件（令和2年度 29件）
- ・車イス貸出 101件（令和2年度 105件）

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○貸出実績

（単位：回）

用 品	サロン	子ども会	自治会・ 地区社協	福祉施設	福祉協力校 (体験学習)	その他	合 計
安全ボーリングセット	1			3			4
輪投げセット	3	1					4
マグダーツ	1	1					2
バスケットビンゴ	1	1		2			4
お手玉ボード	5	1					6
ターゲットゲーム	1			1			2
カーリンコン							0
室内グラウンドゴルフ	1						1
ボッチャ	3			1		2	6
ブラインドボール							0
たいこ相撲		1					1
ジャンボトランプ							0
オセロ							0
古里かるた	1						1
江戸いろはかるた							0
ジャンボサイコロ				2			2
ドレミパイプセット							0
デジタルビンゴ							0
ビンゴ（手動）		1					1
ミュージックベル							0
サンタ衣装	4			1			5
クリスマスツリー							0
着ぐるみ							0
プロジェクター	2					4	6
ケーブル							0

スクリーン	2					4	6
DVDプレーヤー	1					1	2
マイクスタンド							0
マイクアンプ（スピーカー）	2					2	4
マイク	2					2	4
ポップコーン機							0
綿菓子機	1		2				3
きね						1	1
うす						1	1
もち切り器						2	2
蒸し器・蒸し布						1	1
ざる						1	1
もち箱						1	1
大鍋						1	1
募金箱置型							0
募金箱手持型							0
展示パネル							0
紅白幕							0
テント						1	1
イス							0
机							0
車椅子用スロープ（大）							0
車椅子用スロープ（小）							0
高齢者体験グッズ							0
車椅子（体験学習用）							0
アイマスク							0
白杖							0
視覚体験ゴーグル							0
点字器							0
DVD（福祉体験用）							0
DVD（なんたん元気づくり 体操他）							0
その他							0
合 計	31	6	0	12	0	24	73

3. ボランティア活動支援事業

（１）ボランティアセンター運営事業

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個

人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。

＜ボランティアセンター登録数＞

- ・個人ボランティア 34 名（令和 3 年度登録数）
- ・ボランティアグループ 34 グループ

①ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援

ボランティア活動に関するチラシを年 2 回発行し、全戸配布を行いました。配布後は、ボランティア活動に興味のある方とつながることができ、個人ボランティアの登録者数が増えました。

②ボランティアグループ運営相談・助成金相談

常時運営相談や助成金申請の相談支援を行っています。

③集めて送るボランティア・ボランティア活動の推進

市民の方から寄せられた使用済み切手、プリペイドカード、書き損じはがきを、活動内容を事前に確認の上で、環境保護団体やハンディキャップのある子ども達を支援している団体に支援として適時送っています。

令和 3 年度、約 350,400 個（昨年度比+266,400 個）のエコキャップが寄せられ、保険医療の恵まれない地域の子どもの達や被災者支援の団体に送り、438 人分のポリオワクチンとして支援に使われました。またプルタブにつきましては、新型コロナウイルスの影響により令和 2 年度は受付を中止していましたが再開し、358 kg のプルタブを仕分けや発送をすることができました。

プルタブ・プリペイドカード・古切手につきましては、実状に合っていない部分もあり、令和 3 年度で終了となりました。

④ボランティアの派遣調整（マッチング）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

ボランティア活動への支援内容	R1	R2	R3
ボランティア派遣依頼（アトラクション等）	68	6	10
ボランティア派遣依頼（傾聴・健康講話等）	8	2	8
ボランティアグループ 運営相談支援	2	1	5
ボランティアを始めたい方への相談援助	11	13	10
その他ボランティア全般に関する相談	5	1	5
合 計	94	23	38

【事業成果】

ボランティア活動に関するチラシを年 2 回発行することにより、ボランティア登録者が増えました。

新型コロナウイルスの影響により、ボランティア派遣要請がなくマッチング件数も減少したので、今後もチラシに限らず、LINE や Instagram を有効活用していきます。

（2）災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成 24 年 9 月 1 日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動

を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

【災害ボランティアセンター活動内容】

年 月 日	項目	内容
令和 3 年 6 月 4 日 (金)	亀岡市社会福祉協議会と亀岡青年会議所 (JC) との締結式	災害時の連携を強化するための協定を締結。
6 月 5 日 (土)	令和 3 年度京都府災害ボランティアセンター総会及び研修会 (ZOOM)	協議事項 ・令和 2 年度京都府災害ボランティアセンター事業報告 (案) ・決算 (案) ・令和 2 年度京都府災害ボランティアセンター事業計画 (案) ・予算 (案) ・令和 3 年度役員体制について (案) ・京都府災害ボランティアセンター規約 ・京都府災害ボランティアセンター正会員・サポーター一覧 基調講演 ・「災害医療チームを支えるロジスティクスの立場から考える災害ボランティアセンター」 参加：事務局長 1 名
6 月 8 日 (金)	令和 3 年度災害ボランティアセンター運営委員会を開催する (書面決議)	・令和 2 年度事業報告・決算について ・令和 3 年度事業計画 (案) ・予算 (案) ついて運営委員 12 名に書面にて決議いただく。
7 月 14 日 (水)	令和 3 年度南丹市災害ボランティアセンター開設・運用訓練 (南丹市日吉は一とぴあ)	新型コロナウイルスなどの感染症に対応した災害ボランティアセンターの開設ができるように訓練の実施 ・災害ボランティア開設準備 立ち上がっている災害ボランティアセンターから新型コロナウイルス等の感染予防対策には更に何が必要か検討する。 ・シミュレーション訓練 地域支援課長・担当の 2 名で参加
9 月 1 日 (水)	亀岡市災害ボランティアセンター運用マニュアルの改訂	初版作成から 2 年が経過し現状の組織体制にあったマニュアルの改訂を行った。
10 月 11 日 (月)	「亀岡市防災フェスタ 2021」参加 (サンガスタジアム by KYOCERA)	災害ボランティア登録の案内・活動紹介パネルブースを出展 地域支援課長・担当の 3 名で参加
令和 4 年 2 月 10 日 (木)	令和 3 年度亀岡市災害ボランティアセンター職員訓練	入職 3 年に満たない正規職員を対象に職員訓練を実施 ・保有する資機材等のメンテナンス及び倉庫内の整理を合同で行うことにより、非常時体制移行時に向け円滑な組織内連携を図ることを目的とし実施。
令和 4 年 2 月 14 日 (月)	京丹波町災害ボランティアセンター運営訓練 (京丹波町健康管理センター)	災害ボランティアセンターを円滑に運営するために、運営の手順や役割について理解し、平時から繰り返し訓練を実施し、手順等を習熟しておくことが重要である。

		新型コロナウイルスの流行を受け、センター運営と感染予防対策を講じた訓練を行うことで、職員の技術や意識の向上を図るため研修を実施。
--	--	--

※ ニーズの把握、ボランティアの募集、活動内容については、社協ホームページ・フェイスブックで行っています。また、ボランティアの募集については府災害ボランティアセンターのホームページでも行っています。

【事業成果】

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により全国で様々な事業が中止・延期となり、開催された場合も規模縮小やオンラインにて実施されることとなりました。

本市災害ボランティアセンターでも、今後の災害発災時にはセンター運営において感染症対策が必須の課題となると捉え、南丹市社協での運営訓練に参加し、職員の技術や意識の向上を図り運営上での工夫や課題を職員間で共有することができました。

4. 福祉教育

市内の小中学校(計 16 校)に対して合計 27 回ボランティア・福祉体験を実施しました。

(1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、可能な限り対面での授業を実施し、児童・生徒に、お互いを思いやる心を育み、共生社会の構築のきっかけとなるように意識して事業をおこないました。

(2) 夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として企画しました。社会福祉施設や中学校、高等学校の協力もあり、24 名の参加希望がありました。しかし、新型コロナウイルス感染症にかかるまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令のため、受け入れ中止施設があり、最終的に 6 名が社会福祉施設での体験学習を行うことができました。事後学習会は中止となったため、事後学習会の資料や参加証明書を参加された生徒に送付しました。

5. 各種団体への支援

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応や地域貢献について、また、地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため各施設に関わる諸問題について役員会や総会、情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況から総会が書面決議となり、役員会も ZOOM を用いたオンライン会議を行いました。昨年度に引き続き、亀岡市との懇談も行い、社会福祉施設での人材確保について、意見交換を行いました。今後も情報共有する中で、各施設が協力し合い、ご利用者や地域のため質の高いサービス

の提供に努めます。

日時	事業名	内容
令和3年 4月9日(金)	役員会 【ふれあいプラザ】	令和3年度 役員体制 令和2年度 事業報告・決算 令和3年度 事業計画(案)・予算(案)
令和3年 4月20日(火)	役員会 【ZOOM】	総会開催方法の検討 オンライン会議の方法について
令和3年 5月11日(月)	総会 【書面決議】	令和2年度 事業報告・決算、監査報告 令和3年度 役員体制 令和2年度 事業計画(案)・予算(案) 賛成 31 団体
令和3年 5月19日(水)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談について 亀岡市社会福祉施設協議会の研修について
令和3年 7月5日(月)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談内容について 亀岡市社会福祉施設協議会の研修について
令和3年 8月20日(金)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談内容について 亀岡市社会福祉施設協議会の研修について
令和3年 10月4日(月)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談内容について 亀岡市社会福祉施設協議会の研修について
令和3年 10月17日(日)	市民福祉のつどい 【中止】	
令和3年 11月16日(火)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談内容について 亀岡市社会福祉施設協議会の研修について
令和3年 12月15日(水)	施設協研修 【ZOOM】	BCP(事業継続計画)の作成について
令和4年 1月19日(水)	役員会 【ZOOM】	亀岡市との懇談について
令和4年 3月18日(金)	亀岡市との懇談会	・亀岡市:健康福祉部、こども未来部 各部長 地域福祉課、高齢福祉課、保育課、各課 長、障がい総務係長、計6名出席 ・亀岡市施設協議会 :会長、副会長、事務局 計5名出席

* 予定していた福祉のつどい、歳末助け合い街頭募金は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。

*

② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事 業 名	内 容
令和3年 5月14日(金)	第1回 幹事会(書面決議)	令和3年度 ボラ連役員体制について 令和2年度事業報告・会計決算報告 令和3年度事業報告計画会計予算(案)について

6月7日 (月)	三役会	ボラ連新規加入団体があったため 幹事会開催について
7月29日 (木)	幹事会	新規加入団体について 令和3年度全体研修会について その他 ボランティア基金・オンライン環境について
10月25日 (月)	三役会	ボラ連交流会の開催に向けて

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取組まれています。会議の出席・事業の支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域49の老人クラブが加盟する約2105名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

令和3年度 事業日程報告（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

日 時	事業名	内 容	備 考
R3/4月6日 (火)	広報部	「市老連かめおか」第22号訂正	社協世代間交流室
4月7日(水)	広報部	「市老連かめおか」第22号訂正	社協世代間交流室
4月8日(木)～ 12日(金)	会計簿作り	会計簿(領収書貼り)	社協世代間交流室
4月13日(火)	広報部	「市老連かめおか」第22号訂正	社協世代間交流室
4月14日 (水)AM	会計監査	事業報告・決算報告・監査報告について	社協世代間交流室
4月14日 (水)PM	正副会長・副部長会(新・旧)	前年度事業総括	社協世代間交流室
4月21日(水)	若手委員会	増員について	社協世代間交流室
4月23日(金)	市老連理事会 (R3 旧役員)	事業報告・決算報告・監査報告・友愛活動事業報告について	ガレリアかめおか 大広間
4月27日(火)	会報発行	「市老連かめおか」第22号発行	株式会社ニチコミ
4月30日(金)	正副会長・副部長会	事業報告・決済報告・監査報告・友愛活動助成金配布 等	社協ロビー
5月7日(金)	若手委員会		緊急事態宣言の為に中止

5月12日(水)		発送準備(林会長・河井副会長)	社協ロビー
5月13日(木)	単位クラブ会長会	事業報告・決算報告・監査報告・友愛活動助成金配布 等	緊急事態宣言の為に中止
5月19日(水)		発送準備(林会長・伊豆田副会長)	社協ロビー
5月20日(木)	単位クラブ女性部長会	友愛施設訪問説明会 女性部事業報告・決算報告等	緊急事態宣言の為に中止
6月3日(木)	丹波ブロック代表研修会	丹波ブロックの5ブロック代表会議	ギャラリーかめおか研修室
6月10日(木)～11日(金)	近畿ブロックリーダー研修会	府老連 (和歌山県)	新型コロナウイルスの為に中止
6月17日(木)	会費納入	林会長	社協相談室1
6月18日(金)	日帰り研修旅行	日帰り研修旅行	新型コロナウイルスの為に中止
7月1日(木)	健福部	公式ワナゲ大会について	社協世代間交流室
7月7日(水)	正副会長・副部長会	GG大会開催・市民福祉の集い 参画 等	社協世代間交流室
7月15日(木)	市老連理事会	GG大会・市民福祉の集い	ギャラリーかめおか大広間
7月21日(水)	市町村リーダー研修会	府老連研修会(理事対象)	京都市
7月27日(火)	公式ワナゲ交流大会	公式ワナゲの競技説明やゲームなど	新型コロナウイルスの為に中止
7月28日(水)	女性部実行委員会	丹波ブロック女性リーダー研修会について	社協世代間交流室
8月4日(水)	広報部	「市老連かめおか」第23号 割り付け会議	社協世代間交流室
8月19日(木)	友愛募金納入	林会長・河井副会長	社協相談室1
9月1日(水)	正副会長・副部長会	理事会について	ギャラリーかめおか ぱすてる前
9月6日(月)	広報部	広報部長・副部長会	社協相談室1
9月8日(水)	正副会長・副部長会	老人週間・福祉のつどい・GG 大会・定期大会	ギャラリーかめおか外
9月15(水)～21日(月)	老人の日、老人週間	全国一斉取り組み	亀岡全域
9月16日(木)	広報部	「市老連かめおか」第23号 訂正	社協ロビー
9月16日(木)	市老連 理事会	老人週間・福祉のつどい・GG 大会・定期大会について	ギャラリーかめおか大広間
9月22日(水)	丹波ブロック女性リーダー研修会	府老連事業・講演会・研修会等 (女性役員対象)	新型コロナウイルスの為に中止
9月27日(月)	女性部	丹波ブロック女性リーダー研	社協ロビー

		修会マスク準備	
10月7日(木) (5/13より変更)	単位クラブ会長 会	報告・グラウンドゴルフ大会・ 定期大会・趣味の作品展等	ガレリアかめおか 大広間
10月8日(金)	広報部	「市老連かめおか」第23号 訂正	社協相談室3
10月13日(水)	広報部	「市老連かめおか」第23号 訂正	社協ロビー
10月14日(木)	広報部	「市老連かめおか」第23号 訂正	社協世代間交流室
10月15日(金)	京都府老人クラ ブ大会	第40回府老連大会	京都市
10月16日(土)	広報部	広報部長 仕上げ	社協ロビー
10月17日(日)	市民福祉のつど い	伝承あそび・踊り等 参画	新型コロナウイルス の為中止
10月18日(月)	広報部	「市老連かめおか」第23号 訂正	社協世代間交流室
10月19日(火)	文化部	趣味の作品展について	社協相談室3
10月21日(木)	総務部	定期大会について	社協世代間交流室
10月26日(火) 午後準備	第22回市老連 グラウンドゴル フ大会	亀岡市長杯・議長杯・市老連 会長杯争奪 第22回グラウンドゴルフ大会	新型コロナウイルス の為中止
10月27日(水) 当日			
10月28日(木) 予備日			
11月4日(月)	交遊亭楽笑様打 合せ		社協相談室3
11月4日(月)	会報発行	「市老連かめおか」第23号発 行	株式会社ニチコミ
11月12日(金)	総務部	定期大会について	社協世代間交流室
11月16日(火)	正副会長・副部 長会	新春会長役員会・趣味の作品 展について	社協相談室3
11月17日(水)	全国老人クラブ 大会	府老連 全国老人クラブ大会	香川県
11月18日(木) ～19日(金)	いきいきクラブ 体操	定期大会 体操準備	社協世代間交流室
11月26日(水)	女性委員・役員 準備	定期大会準備	社協世代間交流室
11月29日(月) 準備日	定期大会・指導 者研修大会・ 健康事業講演会	第39回亀岡市老連定期大会・ 指導者研修大会・ 健康事業講演会	社協世代間交流室
11月30日(火) 当日			ガレリアかめおか コンベンションホ

			ール
12月3日(金)	若手委員10周年記念	府老連若手委員10周年記念	ルビノ京都堀川
12月8日(水) (11月16日に 変更)	正副会長・副部長会	新春会長役員会・趣味の作品展について	社協世代間交流室
12月16日(木)	市老連 理事会	新春会長役員会・趣味の作品展について	ギャラリーかめおか 大広間
12月21日(火)	正副会長・副部長会	新春会長役員会・趣味の作品展について	社協世代間交流室
12月23日(木)	文化部	趣味の作品展について	社協ロビー
1月8日(土)	新春会長・役員会	規模縮小のため役員(理事)	玉川楼
1月14日(金)	文化部	趣味の作品展について	社協世代間交流室
1月15日(土)	市町村老連事務局 局長会議	府老連会議(役員総会)	ハートピア京都
1月17日(月) ～19日(水)	保険加入提出	東京海上日動佐々木氏	社協相談室1
1月24日(月)	文化部	趣味の作品展について	社協世代間交流室
1月27日(木)	緊急会議	文化部・正副会長・副部長	社協世代間交流室
1月30日(月)	選考委員会	会長・副会長選考	社協世代間交流室
2月3日(木)	正副会長・副部長会	R4年度事業計画	社協世代間交流室
2月8日(火)	選考委員会	会長副会長選考	社協世代間交流室
2月8日(火) 初日	第37回 趣味の作品展	初日 午前中：準備・搬入/午後 展示 2日目 AM10-展示/PM4-作品撤収	新型コロナウイルスの為中止
2月9日(水) 2日目			
2月14日(月)	健福部	ウォーキング用配布準備	社協世代間交流室
2月18日(金)	保険手数料について	林会長・伊豆田副会長	社協相談室3
2月21日(月)	広報部	「市老連かめおか」第24号割付会議	社協世代間交流室
2月24日(木)	正副会長・副部長会	年間計画について・予算・決算等	社協世代間交流室
3月2日(水)	正副会長・副部長会	R4年度事業計画・予算・日帰り旅行 業者決定・年間行事予定 他	社協世代間交流室
3月10日(木)	市老連 理事会	R4年度事業計画・予算・日帰り旅行 業者決定・年間行事予定 他	ギャラリーかめおか 大広間

3月15日(火)	会長会資料作成	林会長・伊豆田副会長	社協ロビー
3月17日(木)	単位クラブ会長会	R4年度事業計画予算・日帰り旅行	ガレリアかめおか大広間
3月18日(金)	カラオケサークル代表との会議	今後の活動について	社協世代間交流室
通年事業	地域貢献(社会奉仕)	地域の美化・健康推進・子供の見守り他	
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢社宅への友愛訪問	

⑤亀岡市母子寡婦福祉会

対象世帯の多くが経済的に厳しい環境にあり、仕事と家事、育児等をこなしながらの生活のため、心身のゆとりがもちにくく、また情報弱者にも陥りやすい母子や寡婦の自立支援と孤立防止、健康の増進につながるための緒活動を実施する同会が、自立し主体的に事業を運営できるように事務局として支援しています。

日 時	事 業 (行事) 名	内 容
令和3年 4月11日(日)	総会・支部長会	前年度の事業、決算等の報告、次年度の事業計画、予算の承認
5月9日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
6月6日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
7月11日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
8月1日(日)	第1回生活支援講習会	感染防止対策を実施しての母子世帯を対象とした事業実施
8月7・8・28・29日	京都府ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業	①食料品配布事業 ②生活必需品配布事業
10月3日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
10月31日(日)	第2回生活支援講習会	感染防止対策を実施しての寡婦を対象としたすだれコースターづくり
11月7日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
11月14日(日)	第3回生活支援講習会	感染防止対策を実施しての母子世帯を対象とした洋風しめ縄づくり
11月21日(日)	いきいきふれあい事業	感染防止対策を実施しての母子世帯を対象とした旅行 「トロッコ列車～嵐山」
12月12日(日)	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
12月25日(日)	ひとり親家庭の居場所づくり事業	感染防止対策を実施しての母子世帯を対象とした書道教室

12月26日（日）	第4回生活支援講習会	感染防止対策を実施しての母子寡婦を対象とした寄せ植え
12月25・26日（土日）	京都府ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業	生活必需品配布事業
令和4年 2月6日（日）	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について
3月6日（日）	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について

6. 介護保険事業 介護予防・日常生活支援総合事業

（1）訪問介護・総合事業第1号訪問（ホームヘルプサービス）事業

○利用実績

年 度	稼動日数(日)	介護予防訪問介護(件)	訪問介護(件)	合 計(件)
令和元年度	308	268	398	666
令和2年度	309	209	468	677
令和3年度	309	182	563	745

介護保険法に基づき、利用者に可能な限り在宅生活を続けていただけるように支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、想いに寄り添うとともに、関係事業所等とも連携し、利用者が必要とされる適切なサービスの提供に努めました。

（2）通所介護・総合事業第1号通所（デイサービス）事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介護度別登録人数 (年度末) (人)		利用者 延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
令和元年度	307	14	57	6,357	20
令和2年度	309	13	52	6,445	20
令和3年度	308	17	58	6,941	22

* 通所介護

- ・中重度ケア体制加算の算定を継続

介護度が中重度(要介護3～5)であっても安心して過ごせるよう、中重度者の受け入れ体制を整えました。また、要介護3以上の利用者が30%以上を占めおり、前年度に引き続き中重度者ケア体制加算の算定を継続しました。

- ・認知症加算の算定を継続

算定にあたって必要な体制を確保していくために、認知症介護実践者等養成研修修了者育成に努め、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者の割合が20%以上となり、前年度に引き続き認知症加算の算定を継続しました。

* 介護予防通所介護

- ・生活機能向上グループ活動加算の算定を継続

利用者自らが日常生活の課題に応じた活動が選択できるよう、日常生活に直結した活動内容を複数準備し、共通の課題を持つグループで、個別の目標設定

や計画のもと活動し、生活機能向上グループ活動加算の算定を継続しました。

○ 提供内容

- * 一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、新型コロナウイルス感染症予防に十分留意しながら、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来ました。例年は隣接のギャラリーかめおかの催しへの参加を行っていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり催しが中止となるなか、ギャラリーの立地を活かし屋外のバラ園散策などへ出かけることで、外出機会の減っている利用者の気分転換や刺激となる時間を確保することが出来ました。
- * 年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ、気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めました。
- * ベッド臥床者の見守りや利用者の移動・居場所確認を重点に、午後からの職員の配置等の見直しを行い、利用者が安全に過ごしていただけるように努めました。

○ 職員研修

- * 事業所内外での研修に参加することにより、個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができました。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで、安心して利用していただける施設作りにつながりました。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

【支援内容】

- ・利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言
- ・利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。
- ・医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者、地域福祉等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

○給付管理・認定調査件数 (単位：件)

	介 護 保 険	介 護 予 防	認 定 調 査
令和元年度	8 3 6	7 3	4 4
令和2年度	1 2 3 9	5 7	6 6
令和3年度	1 2 0 7	5 6	6 9

※主な業務内容

居宅サービス計画書作成支援、支援経過観察と再評価、入退院時等の医療機関連携、施設入所への支援、必要に応じた居宅サービス計画の変更、介護保険の給付管理、要介護認定等の申請に係る援助

7. 障害者自立支援給付事業

《ホームヘルプ事業》

○利用実績

年 度	稼働日数 (日)	身体障がい者 (件)	身体障がい児 (件)	知的障がい者 (件)	精神障がい者 (件)	合計 (件)

令和元年度	308	97	39	48	100	284
令和2年度	309	111	36	36	91	274
令和3年度	309	98	30	42	86	255

【事業目的】

障害者総合支援法に基づき、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者本位を心掛け、利用者が居宅において、安心して自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

＊サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。

8. 子育て支援事業

(1) ひろば事業

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月下旬から5月は休館、また8月下旬から9月も休館しました。かめおかっこひろばの開館に当たっては、感染予防対策として、1日4回、各1時間の開放、各時間帯最大6組を目安とする入館制限を設けました。(令和4年1月より、10組に緩和)利用者の中には身近なところで感染者が出て感染拡大に危機感をもち、外出を控える方も少なからずいました。一方いろいろな制限があるにもかかわらず、かめおかっこひろばを利用して子どもを遊ばせたい、スタッフや来館者と交流したいという思いから足を運ぶ親子の姿が多くみられました。

○ふれあいルーム利用状況(団体利用を除く)

令和3年度 (平均利用人数 31人)														令和2年度 (合計)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数 (日)	20	0	26	26	14	0	27	26	24	24	24	26	237	247
利用者数 (人)	495	0	713	792	393	0	773	765	789	742	811	1035	7308	6698

◇新型コロナウイルス感染拡大予防のための休館

【令和2年度】令和2年4月1日～5月31日まで、7月21日～31日まで

【令和3年度】令和3年4月25日～5月31日まで、8月20日～9月30日まで

◇利用者カードの発行

新規利用申込者数 令和3年度：259人 (令和2年度：301人)

○かめまるランド利用状況

令和3年度 (平均利用人数 164人)														令和2年度 (合計)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数 (日)	20	0	26	25	14	0	27	26	24	24	24	26	236	82
利用者数 (人)	3344	0	3010	4655	3049	0	4405	4406	4030	3851	3433	4556	38739	13838

【成果と課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新規登録者は昨年度を下回りました。利用者は昨年度より微増しています。感染予防対策として、1日に受け入れる組数を1時間帯6組までとし、利用時間も1日4回（各時間帯1時間）としました。ひろばを開放しない時間帯には、消毒や換気に努め、感染拡大予防に努めました。人数制限があることで利用者とスタッフとの関わりも深まり、コロナ禍に孤立しがちな子育て家庭に寄り添うことができました。
- ・感染拡大防止のため休館していた4月下旬から5月にかけては、「お花の力で元気になろう」をテーマにひまわりの種植えや、玉ねぎ収穫体験など、感染予防に配慮した屋外活動を企画しました。LINEを使って情報発信することで30人ほどの参加者がありました。また、8月下旬から9月にかけての休館期間には、利用者にむけて手書きのはがきを送りました。それを受け取った人が、宣言解除後すぐにかめおかっこひろばに遊びにきてくれることもありました。人との交流を自粛する中で子育てにしんどさを抱える人も多く、相談事業は休館中も続けていることを知らせ、当センターとのつながりが切れてしまわないように配慮しました。



5月15日玉ねぎ収穫体験

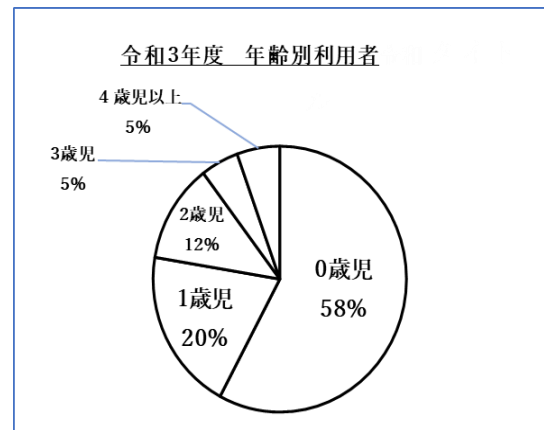


5月17日ヒマワリの種植え体験



7月10日ヒマワリの水やり

・利用者を年齢別に見ると、0歳児が全体の半数を占めており、今年度は特にその傾向が顕著でした。（全体の約6割）午後からの時間帯に、1歳までの赤ちゃんをもつ母親が「赤ちゃんコーナー」で自然に集う様子が見られました。スタッフも積極的にその輪に入り、会話に加わったり相談にのったりすることで、親子に安心して過ごしてもらえるように心がけました。



(2) つどい事業

参加人数を制限し感染対策をとりながら、交流の時間を大切に行いました。

事業名・対象	実施回数	参加人数	実施日	実施内容	講師・協力団体等
(オンライン) ブレびよひろば 妊娠中	5	26	5月18日(火) 7月20日(火) 11月16日(火) 2月1日(火) 3月15日(火)	助産師との交流会 妊婦どうしの交流会	中塚助産師 森川助産師
ひよこひろば 妊娠中～6ヶ月	16	244	毎月第1、第3水曜日 (緊急事態宣言発出による中止を除く)	保健師のお話、育児相談 手形足形アート ふれあい遊び ベビーマッサージ 癒しの音楽(ヘルマンハーブ) 交流 ヨガ 防災の話	主任児童委員 保健師 山本泰子さん他 (ヘルマンハーブ) 芦田澄子さん
ひよこひろば 7ヶ月～12ヶ月	17	219	毎月第2、第4水曜日 (緊急事態宣言発出による中止を除く)	栄養士による相談 ふれあい遊び 手形足形アート リフレッシュ体操 交流	主任児童委員 栄養士 山本泰子さん他 (ヘルマンハーブ) 丸山礼子さん
ぶくぶくひろば 1歳～2歳未満	14	201	毎月2回(火曜日、金曜日) (緊急事態宣言発出による中止を除く)	感触遊び こいのぼり作り いもほりごっこ 落ち葉遊び お店屋さんごっこ 新聞紙遊び 記念制作	
きらきらひろば 2歳以上	14	228	毎月2回(火曜日、金曜日) (緊急事態宣言発出による中止を除く)	感触遊び いもほりごっこ 落ち葉遊び お店屋さんごっこ 新聞紙遊び 記念制作 講師を招いての遊び	榎麗子さん
みんなのひろば 全年齢	休止中				
おしゃべりひろばピア ポケット	3	20	月曜日 (毎月)	交流	
カンガルー ひろば (1歳以上)	2	58	10月31日 1月30日	行事にちなんだ遊び	榎麗子さん
子育て講座	1	13	12月13日	テーマ「子どもとの暮らしのヒント～オンリーワンのスケジュールを作ろう」	
世代間交流事業	1	8	2月26日	多胎育児家庭の交流	
子育てネット ワーク事業	4	10	10月11日	普通救命講習会	京都中部広域消防組合
		27	6月21日 11月8日 3月14日	子育てサークル代表者交流会	
合計	77	1,054			

【成果と課題】

・つどい事業の時間帯を10時30分～11時30分に設定し、毎回時間の半分は参加者の交流の時間として事業を計画しました。コロナ禍ではありますが、人数、時間を制限することで安心して事業に参加してもらえるよう心掛けました。

・ひよこひろば前半（対象：妊娠中～6 か月まで）、ひよこひろば後半（7 か月～12 か月まで）、ぷくぷくひろば（1 歳～2 歳未満）、きらきらひろば（2 歳以上）は、それぞれ月に2 回開催し、より多くの人に参加してもらえるようにしました。コロナ感染拡大防止を念頭に内容も考慮して行いました。人数制限をすることで、参加者どうし、またスタッフと参加者の交流が深まり、コロナ禍で孤独になりがちな親子の居場所づくりにもなったのではないかと考えます。

・昨年度から始めた「ファミサポひろば」「おしゃべりひろばピアポケット」は、内容が今一つ利用者に伝わりにくかったようで、参加者が減少しました。令和4 年度は、内容と情報発信に工夫を加えて、参加者を募っていきたいと考えます。



3 月 ひよこひろば（妊娠中～6 か月まで）
「ヘルマンハーブ演奏会」



10 月ひよこひろば（7 か月～12 か月まで）
「ふれあい遊びとリフレッシュ体操」



11 月 ぷくぷくひろば（1 歳以上2 歳未満）
「落ち葉であそぼう」



3 月 きらきらひろば（2 歳以上）
「たんぽぽちゃん（榎麗子さん）とあそぼう」

○出前ひろば

亀岡市立保育所子育て支援推進員、主任児童委員、子育て支援実践者等の皆様と連携して、地域における身近な場所で親子が集い、人々との交流から、安心と喜びが生まれる地域づくりをすすめました。

実施日	場所	家庭数	参 加 者 数				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合計
4/16(金) 中止	芝生ひろば						
5/18(火) 中止	亀岡市立図書館中央館						
6/11(金) 中止	畑野健康ふれあいセンター						

7/27(火)	菰田野生涯学習センター	4	8	4	5	6	2 3
9/14(火) 中止	亀岡市立図書館中央館						
10/12(火)	菰田野生涯学習センター	4	6	4	7	6	2 3
11/9(火) 中止	芝生ひろば (かめおかっこ農園)						
1/18(火)	亀岡市立図書館中央館	5	6	5	0	5	1 6
合 計		1 3	2 0	1 3	1 2	1 7	6 2

【成果と課題】

- ・今年度も緊急事態宣言の発出により、事業が中止になった時がありました。開催の際には、人数制限や事前募集をし、事業内容を感染症予防に配慮した内容にするなど工夫して実施しました。しゃぼん玉や豆まき、お芋ほりごっこなど季節感のある遊びや地域の小学生との交流、絵本の読み聞かせなどを楽しみました。コロナ禍において人と人との関りが希薄になっている中、出前ひろばが地域での多世代の交流の場になっていることを強く感じます。
- ・亀岡市立図書館と連携して絵本の読み聞かせを行っています。親子がいろいろな絵本に触れる機会になっています。



7月 菰田野生涯学習センター
「世代間交流」



1月 亀岡市立図書館
「節分遊び」

(3) 妊婦来館推進事業

妊娠期からの子育て支援として保健センターと連携を取り、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や「子育ての輪」（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡し、支援センターへの来館の機会を促しています。

【妊婦登録者数】

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
令和 元年	8	8	9	7	2	6	2	5	2	2	3	1	55

2年	1	0	8	3	3	4	8	9	4	1	3	2	46
3年	1	0	7	4	1	0	2	3	2	2	0	2	24

【成果と課題】

・妊婦さんに「子育ての輪」をプレゼントすることを今年度も継続しています。子育て世代包括支援センター（BCome）と連携し、母子手帳の配付時に子育ての輪のチラシを渡してもらい、プレゼントをきっかけに子育て支援センターへの来館を促していますが、チラシを見てセンターに足を運ぶ人は多くないのが現状です。続くコロナ禍で外出を控える人が多く、今年度の妊婦登録者（24人）は前年度の約半分になりました。

・前年度から始めた産前、産後間もない人を対象にした「オンラインプレびよひろば」を今年度の前半は行いましたが参加希望者は少なく、「対面なら参加したい」という希望をよく聞きました。後半は、対面での交流会を行ったところ、続けて毎月参加する人も増え、同じメンバーで顔を合わせることで妊婦同士のつながりが深まりました。

・今後は、仕事をもつ初産婦の方も参加しやすいように、また夫婦で参加してもらえるように、土曜日、日曜日の設定も検討していきます。



3月 プレびよひろば

（4）相談事業（おひさま）

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的な内容は他機関との連携に努めました。

【成果と課題】

・今年度も昨年度同様に子育て支援センターの休館中も、通常通り相談事業を行いました。家庭にとって少しでも楽しい時間になるよう「お花の力で元気になろう」をテーマにしたヒマワリの種植えや玉ねぎの収穫は、土に触れることで心が解放され、気持ちをリフレッシュしてもらう機会となりました。

・緊急事態宣言明けの6月、10月には月に約50件の相談があり月平均の32件を大きく上回りました。また、コロナ禍で在宅の仕事が増え、家族で一緒にいる時間が増えたことによる悩みの相談が前年度を超えており、今年度の特徴と考えます。

・自宅で子どもと向き合う日々のしんどさや不安を抱きながらも一生懸命に子育てしている母親にとっては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「外出できない」「友達とも会えない」など思うように過ごせないことが子育ての不安や日々の生活の不満をどんどん募らせていきます。「不安に感じていることをインターネットで検索していたが、解決にはならず時間ばかり過ぎてしまった。どうしたらよいのか分からなくなってしまった」と来館し相談される方もありました。

・入館が少人数になったことでスタッフが相談者とゆっくり話す機会が増え、表情や気持ちの変化などに気付くことで、迅速に対応することが出来たと考えます。また毎日利用する母親どうしは、距離が縮まり話をしているうちに悩みの解決になることもありました。子どもを遊ばせながら相談でき親同士がつながれる場、そして子育て家庭の居場所となるよう利用者の気持ちに寄り添いながら今後も丁寧な相談対応に取り組んでいきます。

令和3年度 利用者支援事業					相談件数合計		来館	電話		
							403	5		
相談内容			件数		相談内容			件数		
			来館	電話				来館	電話	
食事	1	授乳	5	0	情緒・社会性	51	兄弟、友達との関係	9	0	
	2	断乳	10	0		52	おもちゃの取り合い	1	0	
	3	離乳食	28	0		53	自我	4	0	
	4	好き嫌い	3	0		54	人見知り	3	0	
	5	食事の量・時間	7	0		55	発達の不安	6	0	
	6	遊び食べ	0	0		56	ベビーカー	1	0	
	7	食品	6	0		57		0	0	
	8	水分補給	1	0	母親支援	58	遊び場の情報	2	0	
	9	アレルギー	0	0		59	産前の不安	0	0	
	10	手づかみ・スプーン・フォーク	6	0		60	産後の不安	2	0	
	11	ストロー・スパウト	3	0		61	子育ての不安	31	1	
	12	食事内容、その他	5	0		62	しんどい、イライラ	23	1	
排泄	13	便秘	4	0		63	子どもとのかかわり方	11	0	
	14	便の状態	0	0		64	保護者同士の関り方	0	0	
	15	トイレ練習	7	0		65	アウェイ育児	0	0	
	16	排便	3	0		66	ダブルケア	0	0	
	17	排尿	1	0		67	一人親	0	0	
睡眠	18	午睡	2	0		68	高齢出産	0	0	
	19	睡眠時間	3	0		69	身体の悩み	1	0	
	20	日中、夜寝ない	2	0		70	衣服の悩み	0	0	
	21	夜何度も起きる	6	0		71	家族の悩み	14	0	
	22	夜泣き	2	0		72	仕事、転職、復職	13	0	
	23	寝る姿勢	2	0		73	引っ越し	5	0	
	24	早く起きる	1	0		74	生活の悩み	2	0	
	25	睡眠環境	1	0		75	生活リズム	12	0	
言葉	26	喃語	0	0		76	楽しみ	1	0	
	27	言葉が遅い、喋らない	10	0		77	ファミサポ利用	1	0	
	28	よくしゃべる	0	0		78	育児方針	1	0	
	29	言葉	2	0		79	赤ちゃんがえり	2	0	
	30		0	0		80	室内環境	1	0	
	31		0	0	学校・幼児教育	81	保育園の情報・生活	23	1	
身体健康	32	体重の増え	2	0		82	幼稚園の情報・生活	8	1	
	33	風邪症状、体調	4	0		83	こども園の情報・生活	0	0	
	34	ケガ	4	0		84	産前産後入園	1	0	
	35	肌のトラブル	11	0		85	小学校の情報・生活	8	0	
	36	首のすわり	1	0		86		0	0	
	37	寝返り	2	0		87		0	0	
	38	腹這い、ずり這い、ハイハイ	12	0	苦情	88	子育て支援センターへの苦情	2	0	
	39	おすわり	1	0		89	その他の苦情	0	0	
	40	歩行	4	0		90		0	0	
	身体健康	41	利き手	0		0	91		0	0
		42	目、耳、鼻、歯	17		0	92		0	0
43		体の発達	1	0	その他	93	父からの相談	3	1	
44		よだれ	0	0		94	祖母からの相談	4	0	
45		誤飲	1	0		95	祖父からの相談	0	0	
46		吐き戻し	0	0		96	他機関からの相談	1	0	
47		くせ	3	0		97	母親の友人家族の相談	2	0	
48		服装	4	0		98	Bcome子育て相談	9	0	
49		発達の不安	3	0		99	支援センターへの要望	1	0	
50		その他	5	0		100		0	0	

<相談数>

○子育て支援センター

来館 368 件
電話 5 件

○かめまるランド
来館 35 件
(うち BCome7 件)

<合計>

408 件

(5) 情報提供事業

○情報誌「かめおかっこひろば おたより」の発行

・毎月1回（年間12回）140部発行、その他HP、LINEでの毎月配信

○Face book、LINE、インスタグラムによる子育て支援センターの事業情報の発信

○保育所・幼稚園、子育てサークル、子育て支援事業などのポスター掲示、チラシ配架

(6) 子育てサークル・サロン支援

○登録団体数： 13団体

○今年度活動実施団体： 10団体

○開催総回数： 延べ42回

○参加総人数： 延べ860名

○子育てサークル代表者交流会実施： 3回

（令和3年6月21日、11月8日、令和4年3月14日）

・各子育てサークルの情報（依頼を受けた内容）をLINEで配信

・地域支援課と連携し、赤い羽根共同募金助成金についての情報提供（年2回）

○遊具貸し出し回数： 9回

(7) チャイルドシート貸出事業

○令和3年度チャイルドシート貸出台数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和元年度	10	5	3	15	4	9	4	11	10	5	4	5	85	7
令和2年度	2	2	3	2	3	6	2	7	3	2	0	10	42	4
令和3年度	3	0	3	7	2	2	5	10	4	1	1	2	40	3

※新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言の発出により帰省が減少したためか、ゴールデンウィークやお盆などの大型連休時の貸し出しは昨年度よりも減っています。

※チャイルドシートの標準使用期限の超過により、本体の劣化や汚れ、ウレタンのひび割れが目立ってきています。また、チャイルドシートのみならず、本体を入れる段ボールの老朽化も進んでおり、チャイルドシート使用時に不安感を抱かれる利用者もあります。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

・子育ての援助を受けたい『おねがい会員』と、援助を行いたい『まかせて会員』により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

・子育て支援センターのひろば事業、とくに赤ちゃん対象のひよこひろばの時にファミサポを紹介し、希望者はその場で登録できるようにしたことで、ファミサポの事業や活動を具体的に広く知ってもらう機会ができました。昨年度に比べておねがい会員の新規登録者が増え、年間登録者数は69人となりました。

・コロナの影響で、まかせて会員が活動を中止することはなく、昨年度より活動件数は増えています。

- ・保健センターの乳児健診時のファミサポ広報活動を継続しています。保健センター入口での広報活動は制約が多く、その場では登録にはつながらないことも多いですが、後日会員登録に来られるケースもあり、地道ではありますが一定の成果があります。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
おねがい会員	7 0 7	7 0 1	6 9 9
まかせて会員	2 6 1	2 7 4	2 8 9
両方会員	8 6	7 6	6 8
合 計	1, 0 5 4	1, 0 5 1	1, 0 5 6

イ、相互援助活動件数

○実績

	活 動 内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	27	30	151
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	160	250	263
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	0	1	1
4	小学校の放課後の預かり	8	4	16
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	73	326	360
6	学童保育の帰宅後の預かり	0	0	0
7	子どもの病気の援助	0	0	0
8	子どもの習い事等の場合の援助	355	241	242
9	保育施設・学校など休みの時の援助	17	11	13
10	保育施設など入所前の援助	0	0	0
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	70	17	9
12	保護者等の求職活動中の援助	1	0	0
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	2	0	2
14	保護者等の外出の場合の援助	13	9	2
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	10	1	1
16	その他	20	39	13
合 計		756	929	1073
新 会 員 登 録 数	おねがい会員	80	66	69
	まかせて会員	6	4	8
	両方会員	11	0	0
	合 計	97	70	77
マッチング件数		46	46	26

○成果と課題

- ・コロナ禍でもファミサポの活動依頼は変わらずありました。まかせて会員がコロナを理由に活動を控えるという事例はほとんどなく、感染対策に努めながら、安心安全な

活動に取り組めたことが、何よりの成果になりました。

ウ. 会員活動実績

○交流会実績

交流会名	実 施 日	参加人数	内 容
おたのしみ 交流会 「おいで～おいで ～ オープンデイ」	令和3年 7月19日 (日)	40人	会場：ガレリアかめおか響ホール 内容：子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターを広く知ってもらうためのパネル展示コーナーを作り、スタンプラリーをしながら参加者に会場を回ってもらった。
会員交流会	令和3年 11月15日 (月)	13人	会場：ふれあいプラザ内世代間交流室 講師：桂知恵美さん（まかせて会員） 内容：「傘のポプリ作り」「桂さんのまかせて会員としての活動の話」
料理交流会	令和3年 12月7日 (火)	10人	会場：ガレリアかめおか料理実習室 講師：栗林喜代子さん 内容：①講師による身近な食材を使った調理の様子を受講者が見学、試食を行った。 ②ファミサポ全国講習会の報告 ③こどもの食事についての交流
合 計		63人	

○成果と課題

【全体交流会】

緊急事態宣言解除後、感染対策に努めながら、昨年オープンした「あそびの森」の施設紹介を兼ねて、「ファミリー・サポート・センター」と「かめまるランド」「あおぞらひろば」のパネル紹介を行いました。各パネルを回るのに、スタンプラリーや遊びコーナーを加えて親子で遊んでもらえるように工夫しました。特にファミサポのコーナーでは、非会員にファミサポの会員登録の仕方、ファミサポ事業の様子、相互援助活動の内容について知らせることができました。

【会員交流会】

現在も活動中の桂さん（まかせて会員）を講師に迎え、「傘のポプリ」作りをしながら交流しました。その中で、まかせて会員としての経験談（子どもの自宅預かりなど）を話してもらうことで、参加者がファミサポ活動の具体的な話を聞く機会となりました。

【料理交流会】

講師に管理栄養士の栗林喜代子さんを迎え、「身近な食材で簡単に作れるクリスマス料理」を教えてもらいました。コロナ禍での貴重な対面での事業になりました。また、ファミサポ全国講習会の報告もあわせて行い、「5年以上経過した会員への普通救命講習会受講」「全国的な傾向として、まかせて会員の高齢化、なり手不足の問題」について情報提供を行いました。

○講習会実績○

講習会名	開催日	内 容	参加者数
第1回 まかせて会員講習会（中止）	令和3年 6月15日（火）	説明会・登録会	0
		子どもの権利（人権）について	0
		子どもの発達、生活習慣と遊び	0
	6月25日 （金）	子どもの安全と身近な事故の応急処置	0
		まかせて会員として活動をするために	0
子育てネットワーク事業（中止）	6月5日（金）	普通救命講習会	0
レベルアップ講習会	7月26日 （月）	「簡単なおやつの作り方」	9
第2回 まかせて会員講習会（中止）	9月13日（月）	説明会・登録会	0
		子どもの安全と身近な事故の応急処置	0
		子どもの権利（人権）について	0
	9月14日（火）	子どもの発達・生活習慣と遊び	0
		まかせて会員として活動するために	0
子育てネットワーク事業	10月11日 （月）	普通救命講習会	8
第3回 まかせて会員講習会	令和4年 1月17日（月）	説明会・登録会	8
		子どもの安全と身近な事故の応急処置	8
		子どもの発達・生活習慣と遊び	8
	1月18日（火）	子どもの権利（人権）について	7
		まかせて会員として活動をするために	9
子育てネットワーク事業（中止）	1月31日（月）	普通救命講習会	0
フォローアップ講習会	2月18日 （金）	「リフレッシュ体操で心と身体をほぐしましょう」	9
合 計			66

○成果と課題

①まかせて会員講習会

- ・コロナの影響を受け3回のうちの1回、1月のみ実施できました。1月の講習会は、定員を昨年度よりも増やしましたが、講習時間は従来どおりにして実施しました。講習会への申し込みは、早い段階からあり、参加者の関心の高さ、子どもへのサポートの熱意が感じられました。
- ・今後は、「広報かめおか」での情報発信に加え、社協のInstagramなどSNSを活用して、より広く市民に知ってもらえるように工夫をしていきます。

②フォローアップ講習会

- ・講師として、まかせて会員でもある「共生ケアかめっこの会」の丸山礼子さんに依頼し、身近な廃材を使ったおもちゃでの遊び（ペットボトルキャップでゲーム）や、リフレッシュ体操を、会員に提供することができました。

③レベルアップ講習会

- ・ 亀岡市の栄養士に講師を依頼し、「簡単にできるおやつ作り」をテーマに行いました。年齢によるおやつの意味の違い、身近で体に優しい食材を使った料理などが紹介され、参加者が日常やサポート活動に活かせる内容で好評を得ました。

④子育てネットワーク事業

- ・ 普通救命講習会（eラーニング受講と2時間の実技講習）は、10月に実施することができました。8名が受講でき、すぐにでも活動できるため、大きな成果となりました。次年度も、消防署と連携しながら、1回でも多く実施できるように日程の設定など柔軟に対応していく必要があります。

9. 地域包括支援センター事業

【事業趣旨】

当センターは、亀岡市における地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現にむけ、様々な関係者や地域住民が協同し、多様な価値観や文化など共有することが出来る土壌づくりに取り組み、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等の専門職が、業務の基本的な理念・方針を理解したうえで、常に相互に情報を共有・協議し「ワンチーム」として業務を行います。

中部圏域においては、地域により特性が様々であり、課題も混在しており地域特性の把握や共有を図り高齢者の支援に必要なネットワークを構築し、関係機関との適切な連携を図ります。

総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務と連動を図り、高齢者の主体性を引き出す介護予防ケアマネジメントの充実に努めます。

【事業実績】

① 総合相談支援業務実績

(1) 総合相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
149件	159件	188件	197件	188件	191件

10月	11月	12月	R4/1月	2月	3月
201件	194件	243件	239件	204件	198件

延件数計 2,353 件の相談対応を行いました。

一年間を通して、多くの相談をいただきました。開設当初は家族からの相談が多数を占めていましたが、地域住民の方からの相談も増加しています。各個別ケースの状況や想いに寄り添い、適切なアセスメントを訪問・電話対応等で行いました。

(2) 実態把握

自治会や民生委員児童委員さんとのやり取りの中で、地域の特性や課題の共有をし、個別ケースでの対応を通してインフォーマルサービスの理解も深まりました。これらの相談共有したケースについては、随時実態把握を行いました。

(3) 地域におけるネットワーク構築

中部地域会議・サロン等出席実績

日 時	訪問先	内 容	訪問者数
R3 年 6 月 5 日 (土)	千代川町自治会	千代川町自治会区長会	5 名
7 月 8 日 (木)	萩田野町自治会	中部地域民児協定例会参加	5 名
7 月 19 日 (月)	吉川町自治会	吉川町民児協定例会意見交換会	4 名
11 月 11 日 (木)	萩田野町自治会	萩田野町民児協定例会意見交換会	5 名
11 月 16 日 (火)	千代川町自治会	千代川ふれあいサロン参加	4 名
12 月 8 日 (水)	吉川町自治会	吉川町民児協定例会アンケート説明	3 名
12 月 10 日 (金)	大井町自治会	大井町民児協定例会意見交換会	6 名
12 月 21 日 (火)	千代川町自治会	千代川町民児協定例会意見交換会	4 名
R4 年 2 月 3 日 (木)	千代川町自治会	中部地区民児協定例会参加	3 名

各自治会を訪問、区長会等に参加し、中部地域包括支援センターの周知や連携・協力依頼を行いました。また、中部地区民生委員児童委員協議会、4 町の定例会に参加し、顔の見える関係作りを行いました。

② 権利擁護業務実績

(1) 高齢者虐待の予防活動

- ・民生児童委員の定例会等で相談通報の窓口である包括の役割について広報しました。

(2) 高齢者虐待の早期発見、早期介入

- ・通報があれば、即時、他機関等と連携、情報収集し、市と共有して対応しました。
(令和 3 年度中部地域虐待認定ケース 5 件)
- ・必要に応じ当該世帯に関わる事業所等とケース会議を行い、課題を共有、対応を協議しました。

(3) 成年後見制度の利用支援

- ・相談に来られた市民に適時対応し、丁寧な制度の説明を心掛けました。
- ・ケアマネジャーからの制度利用支援の依頼を受け付け、制度の説明を行いました。

(4) 消費者被害への相談支援

- ・介護保険事業者からの情報提供を受け、消費生活センターへ速やかに連絡しました。
- ・民生児童委員の定例会等で消費者被害について注意喚起し、情報提供を呼び掛けました。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント業務実績

(1) 地域における包括的継続的ケアマネジメント体制の構築

主任介護支援専門員として求められる役割について、介護支援専門員へのスーパービジョン、地域全体のケアマネジメント力向上を目指すための取り組み等について居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員と共に活発な意見交換をするため、亀岡市主任介護支援専門員連絡会の立ち上げを行い、2/28 亀岡市主任支援専門員連絡会の意見交換会の開催(Web)を行いました。また、地域包括支援センター間での連携を図り、亀岡市全体での課題について情報共有を行いました。

主任ケアマネ会議

7 月 8 日 (木)	8 月 17 日 (火)	9 月 29 日 (水)	10 月 28 日 (木)	11 月 30 日 (火)
12 月 21 日 (火)	R4 1 月 14 日 (金)	1 月 24 日 (月)	2 月 21 日 (月)	2 月 28 日 (月)

(2) 介護支援専門員への支援

介護支援専門員に対して、支援要請時には、電話やセンター内での相談や同行訪問を行いました。必要に応じて制度的な助言や指導、また、行政や民生児童員等と介護支援

専門員の関係構築について助言を行いました。同居家族からの虐待対応、家族との関わり方についてケアマネジャーが苦慮しているケースへの関わりや、独居・高齢者世帯の支援困難ケース、医療ニーズの高いご利用者への支援方法などの助言を7ケース行いました。

④ 介護予防ケアマネジメント業務実績

(1) 介護予防給付ケアマネジメント

4月 102件	5月 127件	6月 141件	7月 147件	8月 145件	9月 149件
10月 157件	11月 158件	12月 155件	R4. 1月 155件	2月 156件	3月 156件
計 1,748件					

ご利用者の状態、意向に基づき、自立支援についてアセスメントし、主体性を引き出す介護予防ケアプランを作成、対象者・家族・関係機関との共有に努めました。

(2) 地域支援業務における介護予防ケアマネジメント

ア. 介護予防ミニ講座開催実績

日 時	訪問先	内 容	参加者数
R4年2月3日 (木)	千代川町自治会	中部地区民児協 ミニ講座（認知症予防）	40名
R4年3月10日 (木)	葎田野町自治会	葎田野町民児協 ミニ講座（フレイルについて）	8名

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、自身で出来る介護予防の取り組みを周知するために、認知症予防とフレイルの予防についてミニ講座を行い、必要性について理解を得ることが出来ました。

イ. 介護予防拠点活動支援事業・サロンに参加

地域課題について主催者と情報共有に努めました。また、参加者に向けては、介護予防について啓発・周知を図りました。

⑤ 認知症高齢者及び家族への支援

(1) 認知症サポーター養成講座

日 時	訪問先	参加者数
R3年7月8日（木）	松花苑ワークス大井	12名
R3年10月15日（金）	カーショップナカイ	4名
R4年2月4日（金）	吉川小学校6年生	9名
R4年3月17日（木）	南丹障害者就業・生活支援センター	12名

認知症の人やそのご家族が安心して暮らせるまちづくりにつながる認知症サポーター養成講座を実施しました。また取り組みの広報を地域の住民や組織へ行いました。

(2) 認知症を伴う個別ケースに関して必要に応じ市健康増進課の認知症初期集中支援チームと連携し、速やかな課題解決に向けた協議対応を行いました。

⑥ その他

○地域ケア個別会議参加実績

5月25日（火）	6月22日（火）	7月27日（火）	9月28日（火）
10月26日（火）	11月25日（火）	12月21日（火）	計7回

ア. 居宅介護支援事業所から事例提供をいただいたケースについて、各専門部会や生活支援コーディネーター等とケアマネジメントにおける高齢者の自立について意識の共有化、地域課題についての検討を行いました。

イ. 地域ケア個別会議を通じ介護支援専門員や多職種と I C F の概念に基づいた自立支援に資するケアマネジメントの考え方について検討することができ、潜在する興味や関心事を知ることや本人の役割への意識、コロナ禍でのオンラインの活用による地域資源、規範的統合といったことの必要性について共有することができました。

○研修受講実績

日 時	内 容	職員参加人数
R3 年 7 月 1 3 日 (火)	自然災害・感染症 B C P 作成のポイント	6 名
R3 年 8 月 1 1 日 (水)	令和 3 年度地域包括支援センター職員基礎研修	6 名
R3 年 8 月 3 0 日 (月)	地域包括支援センター職員向け人権研修	6 名
R3 年 9 月 1 6 日 (月)	自主点検をひもとく、運営基準の初心者向け講座	5 名
R3 年 1 0 月 1 3 日 (水)	介護保険最新情報 Vo957. 958. 977 の確認 (～今から求められるマネジメントを理解する)	5 名
R3 年 1 1 月 1 8 日 (金)	令和 3 年度福祉サービス苦情解決セミナー	2 名
R3 年 1 1 月 2 2 日 (月)	令和 3 年度精神保健福祉研修 (～精神障害がある方を病院でないところで支援する～明日から使える支援のヒント)	6 名
R4 年 1 月 2 6 日 (水)	令和 3 年度ボランティア入りロデザインプロジェクトオンライン研修	1 名
R4 年 2 月 1 5 日 (火)	令和 3 年度介護予防ケアマネジメントオンデマンド研修	5 名
R4 年 2 月 1 6 日 (水)	消費生活協力員・団体養成講座 (見守りネットワークの基礎知識・取り組みについて)	3 名
R4 年 3 月 2 2 日 (火)	令和 3 年度地域包括ケア担当職員セミナー (認知症施策の動向・権利擁護支援の動向)	6 名

包括支援センター職員として、各種研修に参加し、必要な知識や情報、制度の理解などに努めました。

【事業成果と課題】

成果としては、センター設置の周知について中部地域の 4 町の自治会、中部地区民生委員児童委員協議会との連携や、Facebook・HP など SNS を利用した発信により周知を図り、高齢者に必要な関係機関とのネットワーク構築に向けても、各個別ケースの状況や内容に応じ、関係機関との適切な連携を行いました。センター内では日に 2 回の共有時間の設置や、個別ケースの会議の開催など、センター内各専門職が意志統合を図り、チームとして対応できるよう努めました。介護予防拠点事業やサロンの参加、ミニ講座や認知症サポーター養成講座の開催等、介護予防についての啓発・周知を行いました。

課題としては、コロナ禍でもあり、サロンや地域と関わる機会が少なかったこともあり、地域の課題や強みの把握・共有などが深められなかったため、次年度に向けて取り組みを進めていきたいと思ひます。

10. 市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪！かめおかの輪！～

例年、福祉への理解を高め共に支え合う福祉コミュニティの形成を目的に「市民福祉のつどい」を開催してまいりましたが、今年度についても、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、やむを得ず中止といたしました。

11. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金募金実績（亀岡市共同募金委員会扱い）

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
戸別募金	5,768,460 円	5,879,740 円	6,085,883 円
その他	924,641 円	882,128 円	1,122,415 円
合計	6,693,101 円	6,761,868 円	7,208,298 円

○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地元の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所	ガレリアかめおか（余部町）	3 台
	東部文化センター（篠町）	1 台
	亀岡市シルバー人材センター（追分町）	1 台
	J A 京都本店（余部町）	1 台

○イベント募金

赤い羽根共同募金の募金額を増やす取組として、市全体を対象に実施されるイベント（光秀祭り等）や、各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流になる住民イベント等）に市社協として参画し、ポップコーンなどを販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。

集まった募金は、翌年度の「赤い羽根共同募金地域助成金」として、「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただく予定でしたが、新型コロナウイルスによるイベントの中止や延期もあった為、今年度は参画を見合わせました。

○募金百貨店プロジェクト（寄付つき商品）

企業の社会貢献として寄付つき商品の販売を行っていただきました。現在は5事業所、13商品の登録をしていただいています。令和3年度募金実績は、33,794 円の募金が集まりました。コロナ禍のためイベント等で販売することが出来なかったため、社協職員向けの販売を行いました。

○赤い羽根共同募金 助成金事業 実績

『共同募金と地域支援活動の一体化』として取り組みを行いました。

事業区分		対象事業	目的・事業内容	事業	交付実績額
特別枠		亀岡市共同募金委員会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		4	271,000 円
A	1	新たな地域支援サービスやサロンの立上げ支援	新しく住民相互の見守りや助けあいの仕組み、サロンなど居場所を作る取組	0	0 円
B	1	担い手(ボランティア)の養成・組織強化	ボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募り、ボランティア講座の実施や組織化を強化する	4	97,000 円
	2	理解促進のための研修活動	地域住民等を対象に福祉課題に関する研修会を実施する。	2	140,000 円
	3	共生社会を目指す福祉教育活動	子ども達や地域住民が、車いす体験や障がい者等と交流を通して理解を深め、今まで気付かなかったことに目を向け多様性を身につける機会をつくる。	6	40,000 円
	4	当事者同士のつながりをつくる交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者を支援し当事者同士のつながりを作る交流活動	8	248,000 円
	5	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待対象者等を定期的に訪問し見守るとともに、相談を受けたり必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	0	0 円
	6	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リーダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	30	1,529,000 円
C		亀岡市社会福祉協議会が地域を対象に行う地域福祉事業	地域福祉活動者支援事業	1	155,000 円
			福祉体験学習(通年・夏休み体験学習)	1	145,000 円
			広報	1	203,522 円
			地域福祉活動計画の概要版・本冊子印刷	1	660,000 円
			ボランティア広報誌	1	276,760 円
合 計				59	3,765,282 円

助成金申請や報告書提出時の取りまとめについて、申請団体の立場に立っての支援を心掛けました。実施状況についてもできる限り活動の現場に実際に足を運ぶなかで確認し、共同募金の趣旨に沿った実施となるよう、地域の活動者に説明をおこないました。

また、助成経費の見直しや、2次募集の実施を行うことにより、亀岡市内各地の地域福祉活動が再開されるよう取り組みました。

12. 歳末たすけあい運動

(1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ ガールスカウト京都府連盟第57団
- ・ 亀岡市母子寡婦福祉会
- ・ 亀岡市PTA連絡協議会
- ・ 亀岡中学校学習探究部
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
- ・ 亀岡市老人クラブ連合会
- ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
- ・ 京都先端科学大学教育修学支援センター
- ・ 南丹高等学校生徒会

(順不同)

(2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅 (見舞金)	808件	4,040,000
施設配分	手指消毒液27箱 タオル・石鹸・ティッシュペーパー トイレットペーパー	124,740
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	2,299,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	0
事務費	通信運搬費、消耗品等	32,082
当年度期間外募金		0
次年度配分予定剰余金	共同募金会へ	341,000
当年度剰余金	共同募金会へ	235,920
合 計		7,072,742

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

○在宅 (見舞金) の内訳

配 分 対 象	対象者数 (人)	配分単価 (円)	金 額 (円)
寝たきり・認知症高齢者	86	5,000	430,000
重度障害児者	641		3,205,000
交通遺児	7		35,000
被爆・公害患者	12		60,000
その他支援を必要とする家庭	62		310,000
合 計	808		4,040,000

○配分先施設の内訳

・青葉学園	・かめおか作業所	・第二亀岡園
・花ノ木医療福祉センター	・第二かめおか作業所	・第二亀岡園ケアハウス
・松花苑かしのき	・第三かめおか作業所	・亀岡友愛園 (軽費老人ホーム)
・ワークスおーい	・太陽共同作業所	・亀岡友愛園 (特別養護老人ホーム)
・圭の家	・亀岡園	・関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ケアハウス朝野	・こもれば	・陽生苑
・亀岡たなばたの郷		

(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	5,815,580
篤 志 者 寄 付 金	727,043
街頭啓発 (街頭募金)	3,362
期 間 外 募 金	0
小 計	6,545,985
前 年 度 繰 越 金	526,757
合 計	7,072,742

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	4 6 3, 8 0 0	大 井 町	5 1 2, 0 0 0
亀岡中部地区	4 3 6, 6 0 0	千 代 川 町	5 6 1, 2 0 0
亀岡西部地区	2 7 3, 7 3 0	馬 路 町	1 6 4, 3 0 0
東 別 院 町	1 6 8, 2 0 0	旭 町	8 3, 4 0 0
西 別 院 町	1 0 0, 8 0 0	千 歳 町	1 3 3, 7 0 0
曾 我 部 町	3 4 3, 3 8 0	河 原 林 町	9 4, 4 0 0
吉 川 町	5 6, 5 0 0	保 津 町	1 9 1, 8 0 0
菰 田 野 町	2 6 6, 7 0 0	篠 町	9 1 2, 9 0 0
本 梅 町	1 6 0, 4 0 0	東つつじヶ丘	1 2 8, 5 0 0
畑 野 町	5 6, 7 0 0	西つつじヶ丘	2 7 4, 9 0 0
宮 前 町	1 3 7, 7 2 0	南つつじヶ丘	2 2 3, 9 5 0
東 本 梅 町	7 0, 0 0 0	合 計	5, 8 1 5, 5 8 0

○篤志者寄付金内訳 (順不同・敬称略)

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	1 0, 0 0 0
湯の花温泉観光旅館協同組合	1 0, 0 0 0
川東地区佛教会	1 5 0, 0 0 0
宗教法人 大本 広報渉外課	4 3, 0 8 4
亀岡金融会	2 0, 0 0 0
亀岡商工会議所	2 0, 0 0 0
亀岡建設業協会	1 0, 0 0 0
亀岡ロータリークラブ	5, 0 0 0
亀岡中央ロータリークラブ	5, 0 0 0
J A 京都亀岡女性部 八重桜の会	5 0, 0 0 0
亀岡市 P T A 連絡協議会	9 5, 2 7 0
天理教亀岡大教会	2 1, 0 0 0
社交ダンスサークルもみの木会	2 0, 0 0 0
亀岡市民生委員児童委員協議会	1 7 7, 0 0 0
Hair Face SAIWAI Brainns	5, 6 8 0
亀岡市老人クラブ連合会定期大会出席者	1, 0 0 0
河原林 正昭	1 0, 0 0 0
中村 功	1 0, 0 0 0
奥条ふれあい市場	2, 3 9 4

篤志者氏名	金額(円)
亀岡市総合福祉センター募金箱	13
社協職員	28,500
ふれあいプラザ募金箱	8,102
匿名2名	25,000
合 計	727,043

(4) 物品寄付(敬称略)

氏 名	寄 付 品
亀岡市PTA連絡協議会	タオル：390枚 石鹸：102個 ティッシュペーパー：324箱 トイレットペーパー：92ロール その他

(5) 年末年始事業

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加者数 (人)
亀 岡 地 区	亀岡地区東部社会福祉協議会	民生委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問してお米と携帯用消毒液を配布	ひとり暮らし高齢者 75歳以上	120
	亀岡地区中部社会福祉協議会	民生委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問して買物券を配布	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	110
	下矢田町5自治会	中止	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	0
	亀岡地区西部自治会	配食(弁当)の配布	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	76
東 別 院 町	東別院町自治会	みかん・つるし柿の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	68
西 別 院 町	西別院町自治会	正月用菓子の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	22
曾 我 部 町	曾我部町自治会	ひとり暮らし高齢者、ひとり親家庭世帯へお米を配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	113
吉 川 町	吉川町自治会	お米の配布	ひとり暮らし高齢者	27
蒔 田 野 町	蒔田野町地区社会福祉協議会	小学生・幼児等を対象に御霊神社めぐりを行い、神社の歴史を学ぶ。境内でクイズや宝探しを行い参加賞を配布	小学生・幼児	250
本 梅 町	本梅町地区社会福祉協議会	菓子の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	71
畑 野 町	畑野町自治会	和洋ギフト・カレンダー・マスクを手渡しで配布	ひとり暮らし高齢者	100
宮 前 町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理を配食しながら友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	32

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加者数 (人)
東 本 梅 町	東本梅町自治会	子どもから高齢者までの作品展・抽選会・企画ワークショップ	全町民	2 4 0
大 井 町	大井町自治会	食料品・生活用品を配布しながら友愛訪問	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	2 2 4
千 代 川 町	千代川町自治会	高齢者の親睦会・気功・太鼓演奏・クリスマスリース作り	高齢者・要支援高齢者	1 2 5
馬 路 町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	花と果物の配布	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	5 0
旭 町	旭町自治会	花を配布しながら交流・訪問	75 歳以上の高齢者	2 8
千 歳 町	千歳町自治会	コロナ感染予防対策用品(手指消毒用アルコール・マスク・ハンドソープ等)を配布しながら、安否確認の訪問	高齢者世帯	1 6 3
河 原 林 町	河原林町自治会	正月用(寄せ植え)づくり	85 歳以上又はひとり暮らし高齢者	9 3
保 津 町	保津町社会福祉協議会	記念品と見舞金のお届け	ひとり暮らし高齢者・寝たきり高齢者、障害者、低所得者	1 5 1
篠 町	篠町自治会	おもてなしセットと挨拶状配布しながら友愛訪問	民生児童委員訪問家庭	4 5 0
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	正月用寄せ植え講習会	ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯で民生委員が見守りを判断した世帯	1 6 0
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もちを配布しながら、安否確認の家庭報恩	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 4 9
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち・感染予防グッズ(うがい薬)を配布しながら安否確認	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 5 1
合 計	2 4 団体			2, 9 7 3